十八日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

京城日報

○休戰條約調印終了 講和談判續いて開始されん

露國公報に曰く十五日ブレストリトウスクにて休戰條約の調印を了せり休戰は十二月十七日に始まり一月十四日に至る豫定なるが一週間前に豫告する事無くば休戰は更めて交渉を經る事無く繼續され又條約は陸、空、海各軍隊一般に適用さる講和談判は續いて開始さる可し（倫敦電報）

○過激派政府を承認せず 駐英大使外相の職を執る

北京駐在露國公使館は哈爾賓の過激派が同地を支配するを認めず國際的支配の下に置かん事を欲し居れるが此の問題に關しては倫敦駐箚露國大使の訓令を仰ぎ居れり尚目下各在外露國大使館は悉く本國政府を承認せざるを以て在倫敦大使は外務大臣の職を執り之を統轄しつゝあり（北京特電）

○無政府黨出現か

ニコリスタに於て無政府黨出現の兆あり市民は日本居留民と協力して警護團を組織す可し（浦潮電報）

○露廢帝遷移決議

十五日イマイロウスキー、ペトログラスキー兩聯隊會合し其の結果廢帝、廢后及びその子女をクロンスタツト、若くはピーターボールに遷し其の特權を剝奪すべき事を決議したり（露都電報）

○廢帝浦鹽に脫る

露國ニコラス廢帝はトボリスタの配處を脫出し浦鹽方面に向ひ落ち延たりと（露都電報）

○露兩將軍の運命

過激派はカレヂン將軍逮捕せられコルニロフ將軍は逃走せりと發表せり（露都電報）

○伊軍敵猛襲擊退

獨軍はモンテソラートに對し大軍を以て攻擊を開始し劍戈相搏つの猛烈なる大激戰の後伊軍の爲め擊退せられたり又敵はカプリレ及びペレツクに對し猛烈なる強襲を加へたるも之れ又擊退され犧牲頗る莫大なりと（羅馬電報）

○征討軍出動命令

南北安協遂に破裂し馮總統は征討軍一路司令に曹錕同二路司令に張懷芝を命じ各々出動を命じたり（北京特電）

○歲晚財界不振

大阪歲晚の財界は活氣無く單り小資商のみ繁昌し居れり（大阪特電）

○司法會議開會

十八日より十九日迄二日間關東都督府管內各務所司法會議を旅順法院內に開く事となれり（大連特電）

○南滿製糖有望

奉天南滿製糖會社にては愈々作業を開始し試驗の結果一割三分の步留りあり前途頗る有望なり、同社本年の甜菜總收穫は二萬四千噸なるも一日五百噸を製すれば一月半にて終るべくそれよりは南洋産の粗糖精製に著手し一日五十噸宛を精製すべしと（奉天特電）

○遼陽軍旗祭擧行

遼陽駐在第七師團步兵第二十六聯隊軍旗祭は來る廿五日同地聯隊兵舍にて擧行すべし（奉天特電）

○米大使館員南行

東京駐在米國大使館員一行は十七日夜北京より來奉同夜直ちに安奉線にて日本に向へり（奉天特電）

○內藤博士一行

過般來山東方面漫遊中なりし京大教授內藤虎次郎博士及び稻葉君山氏一行は十七日夜京奉線にて來奉大和ホテルに一泊せるが兩氏共十八日午後十時發安奉線にて朝鮮に向ふ可し（奉天特電）

○宮部博士著奉

東北大學農科大學教授宮部理學博士は十七日夜安奉線にて著奉せり（奉天特電）

◉西部戰勢比較 聯軍の兵器優秀 陣地構成も完全

▲露國の內部 混亂と伊太利戰場に於ける成功とに依り獨墺軍の形勢可なるものあり即ち東部に備へたる獨逸兵力の餘裕は早晩西部戰場に廻し或は遠からず決戰的大攻勢を始むべしとの說あるに對し一專門家の觀察に曰く獨軍旋回說は早くも事實となりて西部戰場の獨軍集中は非常に大規模なるが如し思ふに露西亞が事實上の休戰となりたるは數箇月前の事にして聯合軍が對露決意は既に此時に始まり到底露國の軍事的に賴むべからざるを觀念し同時に早晩敵が西部に集中すべきを豫想したるは疑ふべくもあらず、而していよ／＼獨軍が集中決戰に移るとしても戰勢は如何に展開す可きか現在西部戰場の兵力は聯軍頗る優勢なれば獨逸は少なくとも之に對抗する兵力を增すの要あり、而かも露伊方面を全然空虛にして西部に集中を計すや否や今日既に集中を始めたりと云ふも實際は全力を西部戰に用ゐる難き事情あらん兎に角獨逸にして決戰するとならば何とかして聯軍以上の兵數を備ふるならん聯軍亦之に對して

▲兵員の增加 を謀るべく縱し其事無しとするも武器其他軍需品の點に於て疲憊せる敵が幾多の犧牲を拂ひながら能く其補充を完うし得べきか露國の混亂と伊太利の敗戰とは未だ獨逸の兵器工業を助長するに足らざるべく新鋭武器の製造力を聯軍特に英國のそれに比すれば非常の差ありといふべく英國が陸軍兵器の製造に偉大なる力を發揮したるは實に驚く可き程にて巨砲、彈丸、銃其他の企及し得ざる所たり［illegible］敵を破つて陣地を進むる［illegible］武器の精鋭に因る［illegible］敵の集中を待ちて［illegible］之に備ふる用意あり即ち陣地の構成は殆んど半永久的［illegible］にして此半歲の間に更に大に［illegible］を加へたるもの〻如し、陣地の堅固を加へたるにも其程度は遂に聯軍側の優越を認めらる、爰に於て(一)敵は假に兵數を增加するも武器に於て劣らざるか(二)敵の兵數多しとせば聯軍の戰線突破は容易ならず(三)聯軍亦從來の如く一戰毎に少しづゝにても陣地を進むるが如き事は至難なり(四)若し或地點たりとも突破せんには幾度か非常の犧牲を拂はざるべからず等の推測生ず、いよ／＼決戰の行はるゝ曉如何の狀を呈するかは［illegible］知るに由なきも必ずしも聯合軍の爲めに悲觀するにも及ばざるべし（東京）

◉本年間島農産

本年間島の主要農産に關し其の筋の調査によれば粟四十七萬百十六石、大麥五萬八千八百七十四石、大豆六萬七千八百九十石、小豆十九［illegible］［illegible］

◉臺紙附郵便切手發行 補助貨不足を緩和せん

矢野義二郎氏談（遞信局通信課長）

補助貨缺乏の緩和に就ては總督府に於ても當局に於て朝鮮銀行に交渉し［illegible］の手段を講ぜらるゝに拘はらず市場流通高は銀行券の膨脹に伴はざるため依然各種の需要を滿たさず時季も年末に入り一層缺乏の度を增し來る觀あるより總督府にては來二十一日より補助貨代用として使用せしめ得る臺紙附郵便切手を發行し補助貨不足の救濟をなす事となりたるが右に付遞信局通信課長矢野義二郎氏は曰く

▲臺灣總督府 に於ては本年九月特別郵便切手臺紙を發行し之れを特定の郵便局に於て賣捌かしめ其郵便切手臺紙は郵便貯金等に受入れ得ることゝなせしが當時臺灣にては補助貨の缺乏甚だしかりしを以て特別郵便切手臺紙發行の爲め補助貨不足を救濟し金融界に貢獻したる所少なからざりしとの事なり此特別郵便切手臺紙を以て釣錢に代用をなし或は物品代金支拂の際之れを利用するもの少なからざりしを以て補助貨缺乏を救濟し得たるものなるべし

▲朝鮮も發行 今回朝鮮總督府に於ても臺灣の例を參照し左記の如く特別郵便切手臺紙貼附の郵便切手に關する府令を發布し二十一日より賣出すべく同郵便切手を以て郵便貯金及び振替貯金等に拂込み得ることゝなせり其要領左の如し

▲形式及賣價 五錢郵便切手二十枚を以て一冊となし定價一圓にて賣捌をなす臺紙の色は淡紅色とす

▲賣捌局所 京城、仁川、元山、鎭南浦、群山、木浦、大邱、釜山、馬山、新義州、平壤、羅南（以上十二局）

▲使用方法 右の臺紙貼附の郵便切手を以て朝鮮總督府通信官署に於て一冊又は五冊以內の郵便貯金又は郵便振替貯金をなし得べく、されば郵便貯金を無制限に預入をなす人若くば郵便切手臺紙貼附［illegible］

▲使用上の注意 特別切手［illegible］

□東京より 歐洲出兵論（二）

支局 一記者

○歐洲戰局の趨勢如何を察するに巴爾幹半島の敗戰露國の瓦解伊國の大敗等一として聯合國の非運を語るに非ざるは無し、此の一點より見れば戰局の前途は聯合國が戰勢の挽回を得るや否やを疑ふは必然の勢にして決して我が陸軍が歐洲に出征せざるを以て無理ならずとせし、されど我帝國が聯合國に對し事實上に於て其寄與する所なきが如く思惟するものあるは聯合國の誤解也而して吾人は今日に於て聯合國に於ける此の誤解を徹底的に打破せざる可からざる必要を感ずる愈よ切ならざるを得ず。

○成程我が帝國は聯合國の一員として聯合軍に加擔せりと雖も其の地形東亞の極端に位し、遠く歐西の戰場を離るゝを以て我が國民が其の痛痒を感ずること薄弱なるものあるは已むを得ざる所にして、戰時的緊張の上下一般に瓦りて充實せざる觀あるは掩ふこと能はざる事實也、隨て聯合國の國民が我が日本人の態度に對して不滿足を表しつゝある事も亦深く怪しむに足らず現に佛國のクレマンソーが巴里會議開會前に於て『日本は戰爭の全局に就て何等寄與する所なし』と云ひ、更に一層の努力を日本に要求すべしとの口吻を洩らしたるは聯合國の政治家並に國民の心理的表白したるものと謂ふも可なり、故に巴里會議に於ては正式に日本の歐洲出兵を要求するに至らざりしと雖も聯合國最終の希望が日本の歐洲出兵に在ることは殆ど疑ふべき餘地なきが如し、若し聯合軍にして獨墺軍の進出を壓迫し軍國主義を打破するの勝算あるに於ては自ら是れ別問題なりと雖も苟も然らずして何れの方面に於ても獨墺軍の壓迫を支持するだも困難を感じつゝある現狀に於ては歐洲出兵を渴望し要求するは必然の結果なり、而かも今日は聯合軍の意志なれば也。

○されど聯合國の國民にして、我帝國が聯合國に對し何等寄與する所なく思惟するものあらば是れ實に聯合國の誤解たるのみならず、全く我が帝國の東亞に於ける位置と職責とに對する任務とを無視するものも也。吾人は一歩を進めては明白に我が帝國の聯合國に對する位置と任務とを說明し而して後に本論に到着せざる可からず。

◉五州輕便鐵道計畫 南鮮各道を縫ひ工費六百五十萬圓

［illegible］有力者に於て六百五十萬圓の資本を以て［illegible］より起りて浪津、甘川［illegible］光州を經て湖南線に至るもの及び［illegible］より分岐して全州、江景、論山を經て湖南線を橫斷して公州に至る延長二百五十五哩に亘る輕便鐵道敷設を計畫し多分十日八日頃關係各道廳に向つて出願手續を爲す豫定なるが本鐵道竣成の曉は五州輕便鐵道と稱し貨客の取扱を爲す筈なり尙ほ同出願は關係各道廳の意見を總督府に廻送し出願者は其間に於て必要なる多少の日子を要す可く許否は何れ知る可からず而して右敷設費の六百五十萬圓は二年前の調査に基き豫算せ［illegible］

◉技術官會議（第二日）

技術官會議第二日は十八日午前十時より總督府第二會議室に於て開催、各道技術官を始め關係各局課職員出席小原長官總裁の下に日程に入り新品種に關する打合を爲し午後三時散會せり

◉兵營處分如何

今回朝鮮駐箚師團の編制に伴ひ［illegible］各守備隊は［illegible］京城大田の二地に集結し又第七十四聯隊の元山［illegible］北靑外二箇所を咸興に集結したる［illegible］

◉京畿私營造林狀況

京畿道管內に於ける私營造林狀況を聞くに［illegible］植林見込本數二千［illegible］二百三十九萬六千百八十七本にして此の一町步當り植栽本數は四千［illegible］

◉總督歸任期

長谷川總督は東京よりの情報に據れば來る二十三四日頃東京出發歸任一月元旦の受賀には歸任し御用納迄には政務始式を行はるべしと

◉浦鹽電信開通

京城浦鹽間電信は十七日開通せり［illegible］

◉蘇家屯の啓蒙會

蘇家屯に在る小學校に通學する兒童の爲め啓蒙會といふのがある、會は驛長はじめ驛員其他居る者にて本年の六月から催して居たが熱心に兒童の敎育に利用せられて［illegible］

◉關長官東上期

［illegible］

◉久保理事同道

滿鐵京城管理局長久保要藏氏は十八日午前九時五十分南大門驛發列車にて大連に向ひたるが其の用向は中村都督［illegible］のためにて二十七日頃歸京の豫定なり

◉住友伸銅所長更迭

大阪住友伸銅所長小倉文三郎氏退職に就き小田切延壽氏後任として就職せり

◉煤鐵公司總辦入京

本溪湖煤鐵公司總辦島岡亮太郎氏は十七日入京朝鮮ホテルに投宿せり

◉永濱兵器支廠員出發

龍山兵器支廠より東京兵器支廠に轉補を命ぜられたる永濱砲兵大尉は十六日朝龍山出發赴任したり

◉專賣局の忘年會

京城專賣局長は十七日午後六時千代本に各新聞通信雜誌記者を招待し忘年會を催したるが席上久保局長の挨拶阿部本社長の謝辭あり鐵道幹部諸氏も總出にて接待に努め主客交驩の後十時散會せり

◉明治生命出張所開設

明治生命保險株式會社は今回市內黃金町二丁目六十二番地に出張所を設け中村廉氏所長として來任し今後專ら鮮滿に於て活躍する由

◉大阪朝日發賣禁止

大阪朝日新聞十八日附一萬二千九百六號は發賣禁止を命ぜられたり

人事消息

▲鈴木穆氏（總督府度支部長官）帝國議會に關する用件を帶び十八日午前八時四十分南大門驛發東上
▲［illegible］
▲［illegible］
▲［illegible］

支那の詩書史

（三）今關天彭氏談

○古書は實用的なもので、其の效用は正に書や文章と同じものであると云ふので敎育［illegible］上古の時代は畫によつて鑑戒を施した、之れを傚致と云ふのである。善事善人又たは惡事惡人を畫で描き現はして、敎育の資用に給で、何も知らぬ人を善門に引き入れたと同じ譯である。○畫者に拠れば［illegible］は殷の紂王が妲己を抱いて居る圖などは皆この敎育に利用されたものである。これを支那では『畫で諷を乘る』と云つてゐる。また古畫は宮室に在つた壁畫を寫して置いて、後日の鑑に用ひたとするからである、であるから古畫の多くは人物畫である。六朝に來たが［illegible］段々此の方面に筆を著ける人が多くなつたのである。晉の顧愷之が『山水松石』に巧みであることは有名な事である。また梁の元帝には『山水松石格』と云ふ山水や松石を畫く方則を書いた文章も出來るやうになつたのである。之れは古畫の漸次變化せんとする兆候であつた。その兆候の中に南北朝を經過して、唐となつたのである。

○さて話は後へ戾るが唐の畫界は既に變化の道程に上つて居たところへ、玄宗皇帝のやうな文學美術を好む帝王が出て、奬勵したのである、そこで丁度李白や杜甫と時代を同じくして吳道子といふ非常な描手が現はれたのである。吳道子は晉の顧愷之、宋の陸探微、隋の張僧繇の精粹を集めたと云はれて後來畫聖と呼ばれてゐる。同じ時代に詩聖と畫聖が出た、唐の文華の如何に發達の極致に達したか想像がつくであらう。

○吳道子の畫は、古畫の好いところを集めて大成いたしたのであるから。その畫くところは、矢張り古畫の取り來つた徑路を步んで、人物を畫いたのである。人物とは所謂聖賢、道釋、鬼物の類である。吳道子の筆力は彼詩聖の筆力のやうに千鈞を舉ぐる力があつて、雄壯、穩健、明麗等の好いところ、みな備つてゐた、此の人は杜甫の詩つた「飲中八仙歌」で名高い張旭から筆法を授かつたから飄逸で雄大な事が想像されるのである、だが吳道子は巧思卽ち巧みな考案を畫の上に運らした爲めであつて、古畫の事實そのまゝを寫して些しも自分の考案を離へぬ古畫とは餘程違つてゐるのである。兎に角この人を古今畫法の大建者として、畫界の變化は常に眼前に迫つて來たのである。

時間表

［illegible］

レーニン政府の 新聞壓迫

―外交團は過激派政府を認めぬ―

●○●過激の議論をせぬ樣にと聯合大使の要望●○●

露西亜は暗黒世界と化した、危機は將に到来せんとしつゝ有る、併も國家統治の機關は根柢からグラついて居て各政黨は自分勝手に

はごしく〱發刊させて自派の新聞を盛んに作り勝手のよい報道をさせてゐるから新聞記事などは全然當にならぬものゝ計りである

◆宣言書の發表 (他黨の組織する政府)

を認めないと、言ふ舊政府の官吏はストライキをする、新官吏はてんで仕事が解らぬと言ふ有樣で、主權は何處に存在して居るのか一寸も解らぬ、レーニン政府が單獨で講和をしやうとしてゐるが聯合國ではレーニン政府を認めて居らぬから講和を締結しても無論講和を認めないし獨逸と雖も假令レーニン政府と

◆單獨講和を結

(んでも後から成立する政府)が再び矛を逆にしたならば險呑千萬であるから事實上休戰しても撤退する事は出來まい外交團は全然傍觀的の態度を取つて居るのも實に前途が暗澹としてゐるからで何れの國も確乎たる政府の成立せられん事を冀つてゐるものである、話は後に戻るが

◆日本兵の浦鹽 (上陸せしの記事も此の時…)

聞が捏造して排日熱を鼓吹したゝめ大使なども非常に迷惑して將來過激派の新聞記者には絶對に面會せぬ事にしてゐる、大使は我々の職務に當つて露西亞の現狀に泥沌として殆んど明日の成行をへ豫想する事も出來ぬ程である[illegible]

◆日本では露西亞の現狀に對して種々の議論を

してゐるものもあるやうだが露西亞にあつてさへ解らぬものが遠い日本にあつて解る筈はないから此際過激の議論は避ける樣にして貰ひたいと言つて居たが露都にある外交團は一樣に危惧と不安に囚はれて窃しく混沌たる露國の現狀を傍觀してゐる(終り)

◆自由と平等など (標榜してゐるが…自己)

レーニン政府は日に以外のものには極端なる壓迫を加へてゐる例へばセジエン、レーチ、デーヒ゛ルゼオイツエードモスチ、デーロナロークなどグレンスキーや社會民主黨帝政派等の機關新聞など今回總督府は帝紙附郵便切手を發

山林大火

島津公別邸燒失

●山梨縣 山梨縣南都留郡大石村に十六日午後一時出火、白二十戸を燒き更に山林數百町歩を火の海と化し[illegible]島津公別莊を[illegible]

補助貨代用の郵便切手

一番足りない五錢を補ふために

●二十一日から賣出される

五十錢二十錢などの紙幣も内地から發行する事となつた其品に付て龍山の印刷所で極力印刷を急いでゐる、來る、銅貨も來る、朝鮮銀行でも小額紙幣の[illegible]に可なり力を盡してゐるに拘らず銀行券の發行がズン〱殖えて行く程

◆補助貨の流通が

增さぬのと、一つは一般に持つてゐる補助貨の出し惜しみをする傾きもあるためどうも地方では小さい金が乏しいと云ふ聲が絶えぬ、は何と云つても[illegible]事である、その補助貨の不足を幾分でも救ふと云ふ趣旨から、今回總督府は帝紙附郵便切手を發

◆朝鮮の主な十箇所

の郵便局に於て二十一日から賣出さうと云ふ、此の臺紙附郵便切手は五錢切手を貼つた臺紙二十枚で一冊となつてゐて、其の一枚々々により一枚々々に切り離せるやうにしてある、所で是れを一枚切り放すとつまり五錢白銅だけの價値がある機能をする譯である、どうも朝鮮の補助貨は

◆此の臺紙附切手

を持つて行けば郵便切手も買へるし、彼の郵便貯金も出來るし一月五日迄では郵便貯金は無制限に拂込む事が出來る、商店では買物のつりに使つて重寶であらう、一般は小錢の不足な今日便宜買物をする場合に甚だ助かると思はれる、各銀行では硬貨と同樣に認める、何しろ便利なものである、どうして賣ふかと云へば一面所與十郵便局で二十一日より賣るから

◆普通の切手帖を

[illegible]京城で[illegible]郵便所[illegible]の流通は[illegible]行ける譯である、[illegible]内地や滿洲に持つて行けば無効であるから、[illegible]紙附郵便切手は公衆に於いて自分で希望する所ら五錢切手を臺紙に貼る事となつてゐる、朝鮮のは公衆の手を省くため[illegible]

京城の演藝界を顧みて

▽興行者も俳優もいづれも失敗

―例年よりも更に振はなかつた大正六年―

今年の京城の劇壇には何が殘されたか、いま年を送らうとして一年間の演藝界を振返つて見るとその平凡なのに驚かずには居られない記者の貧しい記憶を辿つて見ると今年位淋しかつた年は最近四五年間に無かつたやうに思はれる、先

◆芝居の方

からいふと、一月に中村新駒、市川團藏、二月に曾我廼家の流れを汲む蝶鳥の喜劇、四月に今樣能樂の泉祐三郎、一月に新駒一座の女形として人氣を集めた市川鶴之助の振付で新券番の藝妓芝居、六月には鐵砲座一行を孤忠信を寶物にしてゐる澤村源之丞一座、七月には大阪の喜劇の鬼笑會一行、十一月にはこれも

◆連鎖喜劇

とか銘打つて來た義士廼家一行が來て京城市中の風景を背景にして實演を呼物にしてゐた、悉う並べて見ると撤ひも撤つて下らないものばかりである、藝術座を除いては、吾々が觀ればそれが直ぐに吾々の血となり、肉となり、骨となるやうな意義のある芝居を見せて呉れたものは一つとしてなかつた、碌な芝居が見られないのも道理で役者らしい役者といつては一として來ないそれで之等の芝居が

◆成功した

かといふに正月の中村新駒以來藝術座を喜劇の海老一鐵五郎一座が京城では珍らしい大入滿員を續けたほかは一として俳優なり興行者なりが或る程度の滿足を表するだけの成績を收め得たものは、全く無いと言つてい位だ、今年は九州までやつて來た[illegible]五郎を呼ばうとして十日間一萬圓と吹掛けられて沙汰止みになつた、帝劇の女優劇が來る〱といふ噂ばかりで來なかつたり

◆引退興行

の川上貞奴が九州路から廻つて來る話もあつたが噂ばかりで立消えになつてしまつた、これは興行者に人を得ないのにも因るが根本は劇場の設備が充分でないために大物になると採算上到底これを容れ得ないのに基くのである、これについて近く改めて記して見ることゝして今年の京城の劇壇には永く遺したい一つの

◆愉快な試

みが企てられた、それは當時も鳥渡書いたやうに思ふが大日本麥酒會社京城出張所の觀劇會であつた、それと最も一つは同社が販賣政策上から主なる演藝に對して相當の援助をした事であつた、觀劇會は藝術座の松井須磨子一座の際に京城のおもなる官吏、會社員、實業家、新聞記者、花柳界等の得意先きからその他諸階級の人を

◆招待した

のを始めとして海老一鐵五郎の時にも可なり多數の人を招待した、古靱太夫の時には入場券を各得意先きに配つたやうにも聞いてゐる、それには隨分多額な經費が要つたやうであつた、しかしこれ等のために興行界が潤ふたことも尠なくなかつたが一方麥酒會社としても演藝界を通じて花柳界その他の需要者側に從來より尚一層の勢力の根を張つた事は事實で大日本麥酒のためにも京城に於ける觀劇者のためにも願はしい現象であつたと思ふ(つゞく)

●前參政官

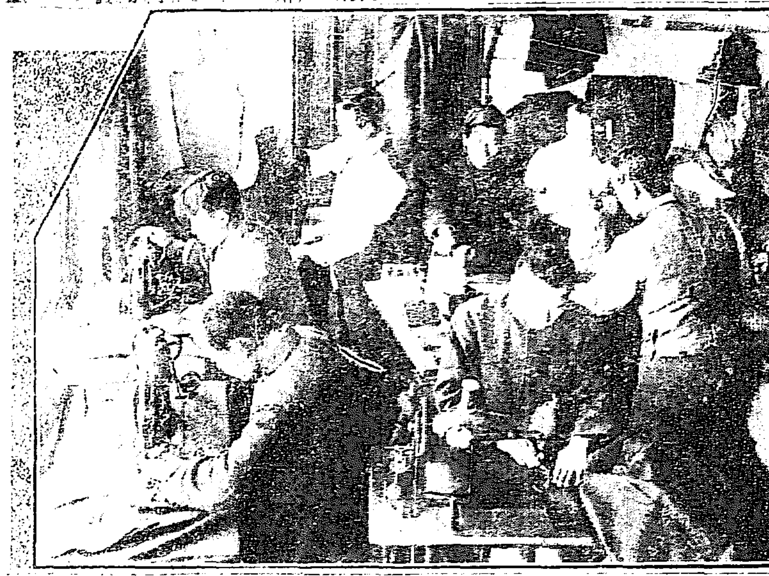
不敬事件判決

司法省參政官田川大吉郎氏不敬事件に付十七日大審院檢事第二部にて判決言渡あり禁錮五月罰金百圓に處せられたり(東京特電)

物情騒然

檢事總長[illegible]へ

十七日平沼檢事總長東京地方裁判所秋山檢事正は[illegible]檢事局に到り同地方裁判所長[illegible]檢事正と密議[illegible]學院[illegible]過去三箇年の事[illegible]嚴重なる捜査を開始し物情騒然たり(東京特電)



●忙しい歳末の洋服屋

時局に激しく洋服地も一時二三割方下落した朝鮮では擧る事に於ては内地の影響を受けるが下るとなると内地とは役交渉だから需要者の離落は一方でない歳末の洋服屋を訪へば暇者の[illegible]に慨いても作るもの丈けは作らね[illegible]

[illegible]

●生徒煖爐にて

燒死す

京城管理局工務課技手佐藤三郎氏二男同姓靖氏(九)は新龍山小學校尋常科三年生なるが十七日同校第三學年教室に備付のストーブにて火傷し十八日午前五時遂に死去したり

讀者文藝 (一句に五十錢)(當選)

○百本目の蠟燭(一等) 隱山晩鶯庵 [illegible]

[illegible]

●高女校長

名譽毀損事件

名古屋教育界の大問題たりし椙山元第一高等女學校長名譽毀損事件は十七日名古屋區裁判所にて石黒[illegible]を罰金十圓に處し新愛知社三名に對しては無罪の宣告ありたり(大阪特電)

●燈とし頃

京城の三越呉服店では二十日から十日間に限り夜間營業をする事になつたその理由は元來三越では東京大阪を始め大連などでも夜間營業はしない事になつてゐるのだが京城では繁華の中心たる本町通りの中央にあり目下暮の賣出しで同町の全部裝飾をして景氣を添へてゐるのに獨り三越のみが夜間店を閉てしまはれては附近が淋しくなつて困るからといふやうな故障もあつたので▲最う一つはこの延期で[illegible]景氣らしく騒いでゐるのに休んでゐるのも妙だといふので一時に始める事になつたのだといふ▲十一月頃から結婚季節に入つて婚禮が多くなつたが年内に行はれる婚禮の支度は成るべく御手輕主義であるさうだ▲朝鮮から内地へ嫁ぐ向きなどは朝鮮で支度するよりも内地で萬端の調度を揃へた方がいゝので朝鮮では婚禮の支度の奇抜なものはないさうだ

●大孤山丸

損害二百五十萬餘圓

十四日伊國シシリー島にて衝突沈沒したる大孤山丸は船主の損害二百五十萬餘圓なりと(大阪特電)

●大豆一千圓流失

京義道[illegible]郡[illegible]面[illegible]里なる汪沖合にて十二月四日大豆百石積みの帆船一隻沈沒せり同船には大豆百九十五俵を積載しあり進路を過て岩角に衝突して沈沒せしが里民らの救助に依り大豆百俵は幸くも引揚げしが流失したる分は約一千圓なりと

●犬二匹で

自動車を轉覆

乘客二名負傷

京城春川間乘合自動車京城廣橋組合所有自動車に運轉手李鳴[illegible]が京城より六名の乘客を乘せ去十[illegible]

國防費一百萬圓獻納

船成金山下龜三郎氏の美擧

船成金として有名なる山下龜三郎氏は十七日國防費として寺内首相迄一百萬圓の獻納方申し出でたり右は陸海軍航空費に充てられ度き希望なるが當局にては詮議中なり(東京特電)

●連絡船上陸客 十七日午[illegible] 前釜山入港新羅丸二三等客[illegible]名 二等[illegible]名 三等[illegible]名 (外人五名)[illegible]

●小火二件

十七日午後一時十五分頃京城[illegible]鐵洞二百二十五[illegible]燒にて消止む[illegible]の焚口より出火常備消防隊駈付け半[illegible]

商況

有價證券現物特電 [illegible]

公債直取引 [illegible]

東京期米特電 [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

雜報

●綿糸布小強し

大阪三品は當限二百九十九圓八十五錢先二百九十九圓八十五錢と前日と殆ど持合ひしが跡稍々好氣配となり止め値は當限三百圓十五錢先限十一圓五十九錢[illegible]

●染料は不勢

歐洲各國の染料會社は戰後漸次に爆發物の製造に轉じたる結果近來の染料製造高は戰前の約三分の一に減じ其他船腹不足關係より米佛等の製品も輸入甚だ困難にして戰後一時上海市場より輸送されし獨逸品も夙に一掃され本邦製造の硫化染料も米國に於ける石炭酸輸出制限の影響を蒙むり居れる旁々内地市場は依然強硬の裡に持合ひを報せるため玆許も之に準じ原料物は總て手堅き商狀を示しつゝありと雖も主として鮮人向に加工せられし染料は目下在品頗る潤澤に

南大門の廻穀

金村米一八叺、金村籾一九叺、天安白米四八叺、東萊大麥一二叺、郭山糯一三一叺、永進糯五〇叺、義州糯二三叺、西井里白米七八叺、平澤白米二六叺、沙里院白米二九叺、平澤糯二六叺、黄州黍二七叺、[illegible]五〇叺、鳥致院糯八二叺、鐵原小豆[illegible]、大麥五五叺、天安白米三三叺、沙里院[illegible]九叺、玄米二五〇叺、議政府籾[illegible]、大豆三八二叺

仁川正米

△籾入津弗々あり氣配は[illegible]

京城正米

昨日來賣人の客足殆ど絶えて見るべき商内行はれず從つて確たる見當なきも[illegible]

●支那粟強調 [illegible]

●大豆強持合ひ [illegible]

●繰付現狀維持 [illegible]

仁川期米

十八日前場(寄付け) [illegible]

生魚市場 [illegible]

市場雜觀

▲昨日の市場は大阪前止六十錢後寄四十四錢と安入電に十九圓八十六錢と十錢下放れたるも買物多く九錢と跳ねたるが戻り[illegible]

仁川米豆取引所 十八日の二月限 [illegible]

下關期米 [illegible]

仁川期米 二十三圓四十四錢 [illegible]

仁川在庫品 本月十五日 [illegible]

仁川米豆取引所 十七日の二月限 [illegible]

天氣 晴 [illegible]

鮮銀金券統一の了解
鐵嶺に於ける正金銀行引繼に就て

朝鮮銀行が這回鐵嶺、遼陽、旅順に於て正金銀行出張所の事務を引繼ぐ事となつたに就ては世間で反對を唱へるやうな噂がある、就中最も激烈に反對するといふ鐵嶺に往つた各方面の實業家に訊ねて見ると事實はこれに反するやうである、鐵嶺人の中には鮮銀の方が營業時間が便利で却つてよいと云ふ者すらある、また正金が本營の爲替銀行に遷つて鮮銀が滿洲の中央銀行になつた事は

▲天下の大勢　が左右なつたので區々たる小問題を云爲するやうなさもしい量見はないと言うてゐる、一時支那人が鮮銀は銀券が無いから騷ぐなどと揚言したのは何かの小刀細工に過ぎないと云ふ者もある、併し正金銀行の爲替の未達勘定を十二月から年末資金の貸出を停止したのには一同鬱かつたやうである、未達勘定は奉天、大連の正金支店で取扱へば譯の無いはなしであるが年末に際して貸出しをやめられては困るといふところから鮮銀では十三日杉野原次席が着任と同時に愈よ正金の店の一部を借り受けて、ドシ／＼貸出し始め

▲一般の銀行　業務を取扱ひ出したやうである、開店は來年の一月からであるが幸ひ正金で快諾したので店は鮮銀奉天支店の勘定として日支人に限らず平等にお客の便利を圖つて居る、それに小西奉天支店長も去る十二日鐵嶺に赴き同地の日支人有力者と會見して從來の朝鮮に於ける鮮銀の遣口から國庫金取扱の件及び這回の金券統一に就いてよく説明したやうである、談合の結果は双方共に善意の了解が能きて大變好結果を生むだとの事である、鐵嶺の人の曰ふには當地輸入商の憂慮したのは爲替資金の問題である、從來日本内地正金銀行の取扱には綿絲布の輸出に就いて政府から

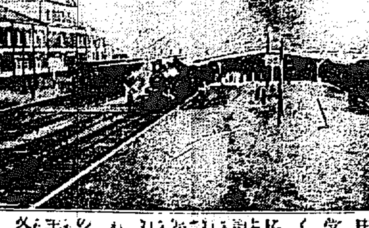
▲低利資金の　貸出があつた、正金の大阪、神戸の店で年額六百萬圓に上つた額が鮮銀となれば高利になるだらうといふ事であつた、併し這回鮮銀の説明では一昨年頭から大阪の店で正金と同樣にしてゐるとの事だから先づ我慢能きるとの事、また曰くその他當地で最も困るのは鮮銀に銀券が無いとである、從來正金は金券、銀券の兩刀使ひであつたから銀の資金の決濟に頗る便利であつた、然るに金券一本槍の鮮銀では困ると、また支那の商人側には大連に特産物を出すにも大連の取引所が銀の建値を續けてゐる以上は金券一本槍でやられては困るといふのである、ところが鮮銀の方では金によりて充分支那側の

▲便宜を圖る　事が絕對に不可能でない、現に開原では金一本で七十萬圓の資金を出し、四平街また四五十萬圓、奉天が二百萬圓（今は百五十萬圓）以上を出して居る、これは皆支那人に使れたものであつて唯銀に不馴の者のみ文句をいふのであると、慇懃次第で小西支店長を會見した支那の商務總會員はすつかり了解したと見えてその一員の曰く日本の金資金が滿洲全體に何千萬圓とぶちまかれた今日、決して金一本でやられて差支はない、唯だ大連の取引所さへ金建値にして呉れたらわれ／＼に於て

▲何等の文句　も無いのであると言うて居る、これで見ると大連では常に金建時期尚早論が通唱されるがそれも數年前銀ばかり用ゐられた當時の金融界とは時勢が違ふから大に研究ものではなからうか、兎に角正金三出張所の引繼は平穩圓滿に行はれ事實に於て何等の支障をも認め得ざるは鮮銀の成功と云はねばならぬ（奉天記者）

◇鐵、鐵、鐵!!
滿洲鞍山站製鐵所の現況

日本內地の鐵の飢饉に遭遇した鞍山站の製鐵工場は愈よ明年の秋に火入式を行ふ筈、米の飢饉は鐵の自足自給を圖れよとの日本に對する神の御警であつたかも知れぬ、鞍山站の製鐵所は目下の寒空にも第一期計畫の作業を進めてドシ／＼發電所を作る、熔鑛爐及び熱風爐の鐵骨組立をやる基礎工事を進める、盛んな能率で工程を早めて居る土工の如きは地下幾尺の仕事を暖氣を採りつゝ進捗せしめ工場員は大車輪である、また一方鐵鑛の採掘は監督の日本人を除く他殆んど支那人夫を以て作業せしめつゝあるが何分にも石炭の採掘と異ひ石工の如き者から採鑛法を敎へてかゝらねばならぬといふ、併し、鑛夫も熟練すると共に漸次能率を增加して來るから火入式までには充分の鑛石を貯藏し得べしといふ鞍山站製鐵所に於ては一般銑鐵の製造より更らに鋼鐵を製し更らにまた軌條、鐵骨類の製品をも製産する筈、これを官用にも民用にも自由に用ふるだらうがこと尤も目下の如き戰時に於て世界の列强悉く鐵の製產に全力を注せる際は兎も角平和恢復後の鐵市場は製鐵過剩に苦しむとが無いとも限らぬが日本に於ては鞍山站の如き製鐵所の設立は多々益々望ましきことであらう（奉天支局生）



建築中の鞍山站製鐵所鎔鑛爐

●民署七年度豫算

大連民政署大正七年度豫算は合計金八十萬圓にして此の內國庫支辨に屬するもの二十萬圓地方費支辨六十萬圓にして地方費中支出の主なるものは水道費の三十二萬圓教育費の五萬圓及び衛生費等にして從來大連に於ける淨水は年々不足勝ちにて斷水に次ぐに斷水を以てし本年度の如きは例年に比し降雨少なかりし爲め幸ひに斷水の憂ひは無しとするも之れに伴ひ腸窒扶斯赤痢パラチブス等の患者頗る多く之れ大連

▲水道水源池　は其の上流に部落を移轉せしめて設置し居たるものにして今猶小部落は水源地上流に殘存するを以て或は同部落の汚物水道に流入するに原因するに非ずやといふ問題起り之が根本調查及び旅順、管內に於ける新水源地の調查及び一般施設にして敎育費は學級附設と增築とにして近來大連市の各小學校は人口の激增に伴ひ校舍の狹隘を告げ年々學級の增設を爲し目下の處小學校數は一高等小學校四小學校となるが今年度內に竣工すべき伏見臺高等小學校學級數は十三學級を算し現

▲小學校增設　學級數は第一小學校に四學級第二小學校に二學級第三小學校に三學級第四小學校に六學級增設を行ふ筈にて此の內第四小學校を除きては悉く校舍に餘裕を存せざるを以て勢ひ增築せざるべからずとの事なり衛生費の大部分は大連市の衛生狀態に鑑み大正七年度より根本的改善を行ふ計畫なりと

●沙河鎭精錬所

本年十月より工事に着手したる沙河鎭精錬所は時期恰も結氷期に入り諸工事極めて困難なるにも拘らず萬難を排し着々工事を急ぎつゝある爲め愈々本月下旬には全部完成し明年一月下旬よりは作業開始の豫定迄に漕ぎ付け居れりと、元來同所は初め六道溝に設置すべく計畫せられ敷地其他も順序よく運び居たるも鉛鑛の精錬をなすものなれば內地に於ける煙害問題等の例に鑑み遽かに計畫を變更し沙河鎭に移轉する事となりし爲め遂に目下の如く工事の遲延を見るに至りたるものなるが却つて將來の發展擴張には頗る恰適の地なりと、今其の精錬に對する豫定計畫なるものを聞くに同精錬所に於て精錬すべき鑛石は[illegible]本溪湖より約三十清里奧なる馬鹿溝鑛石を以て充つべき計畫にして其の精錬高は含金銀素銅約三萬圓、精鉛約二萬圓內外にして一年を通じ三分の二は銅殘餘三分の一は鉛の精錬をなすべき豫定なりと雖も尙採鑛の進むに連れ鑛石の搬出增大すべきを豫想し現在の工程を十倍迄になし得べき準備整然たるものあり

●吉林工場試運轉

來る廿日を期し吉林製材無限公司吉林工場は試運轉式を舉行の筈なるが該工場は數年前某氏滿鐵の後援により計畫せしも都合ありて中止の已むなきに至りたるを引き受け本社より工事に着手今回漸く完成したるものにして目下の處にては只製材工場のみを設けたるのみなりと而して其の原木は鴨綠江産と種類大差なしと雖も其の豐富なると搬出に利便なるとは鴨綠江以上なれば愈々製材開始の上是が市場に現はるゝに至らば從來の形勢は尠なからず移動を見るに至るべく吉林材從來の製材形容は一段の面目を改むるに至る可し

●支商取引新傾向
金建擴張容易

戰爭永續以來銀價の變動は益々激甚となり來れるを以て我商人は金銀本位を異にせる對淸貿易に就き不斷に爲替關係を顧慮せざる可からざるのみならず支商自身にありても最近之れが不安なるに堪へざれば綿絲布其他の重要商取引は次第に金建に一變し盡くせりされば銀引騰に際して市況急激に活況を呈するが常なるも數日間に於ける銀價騰貴に依る市況の變化は金建取引增加せるにより此の傾向は極めて平靜を保てり此の傾向は全く支那人間に於ける金券勢力の擴張なるべし

鮮銀支店開設に關し小西奉天支店長は這般鐵嶺に赴き同地支商と會見せる際支商等は金建取引の安全なるを諒得して彼等は大連方面との取引に際しては依然銀爲替取組に際し大連に於ける本位なるを以て寧ろ大連に於ける金建採用を希望すと述べたりと云ふ奉天以北に於ける支商の金券に對する態度已に右の如くなるを以て我商權の擴張と共に滿洲商取引に金建の實行せらるゝは決して難事に非らざる可し

●奉省の新鑛

奉天省に於て本年一月より十一月廿九日までに採掘を許可せられたる鑛は金鑛四、銅鑛一、可石鑛一、炭鑛一、鉛鑛八、滑石鑛十二、其一、面積合計一萬二千七百二十九畝にて外に鐵鑛四方里あるが其名稱は左の如し

名	鑛質	面積	稼利者
本溪縣鐵箭鑛	金鑛	五〇〇	陳藩
興京縣東二區	金鑛	四〇	張有魁
鳳凰縣[illegible]鑛			
綏中縣拉子分	金鑛	四八〇	梁允中
寬甸縣老抓拉	金鑛	一七〇〇	曹霖
本溪湖[illegible]子鑛	銅鑛	五四〇	李鴻吉
海城縣范子屯	滑石	一五〇	于沖漢
復縣南萊瓜	滑石	一三六九	孫鑑之
海石鑛第二鑛	大理石	一三〇	李守倫
開原縣下土小	鉛鑛	不明	克芳
本溪縣吉祥峪	鉛鑛	二〇	孫世榮
遼陽縣孤山子	鐵鑛四方里		于沖漢

●旅順國庫　引繼準備

朝鮮銀行大連支店長橋本萬之介氏は新藤、信本兩行員を隨へ十六日午前七時五十分發列車にて旅順に赴き同地に於て正金銀行旅順出張所平田恒太郎氏と旅順國庫の引繼を爲し即日歸連したるが引繼は十二月三十一日午後を以て行ふ事となり多分同時に建物其他の附屬物一切の引繼ぎを了すべく大正七年一月一日より朝鮮銀行旅順派出所と呼稱し所長に金井八十次氏國庫主任に本店伊藤、今井八十次氏營業主任に大連支店信本政市氏夫れ／＼任命せられ二十一

●鮮銀新出張所
鐵嶺、遼陽、旅順

這回正金銀行より出張所の引繼ぎを了りたる旅順、遼陽、鐵嶺の各地朝鮮銀行出張所に於ては既に開原の運びに至りたるものもあるが[illegible]奉天支店長より[illegible]は[illegible]二日頃着任直ちに引繼事務に着手の筈なり

●宗教教育演說會

東陽新聞社長吉田商明氏は今回來京を機とし二十日午後六時より[illegible]に於て宗教及び教育演說會を開催す演題次の如し

▲十三日奉天から北行の列車は文官連[illegible]

取消　拜啓貴社御發行の京城日報に係る昨十四日の記事中[illegible]

◉月やく　森田屋

▲廣　告▼

演藝案内
稻荷座　本町五丁目　博多笑劇松葉屋組一座
有樂館
浪花館　浪花節
黃金館
大正館

資本金參百萬圓　漢城銀行　株式會社

有價證券現物問屋開設　丸五商會　有田長

カスミ網　吉備商會

M印ゴムマリ　能く賣れる　大阪泉尾元發賣　飯田商店

佐藤半次郎商店　和洋金物商

東京品　お正月持の貴下の春財布　旅行具專業　岩田鞄店

本日より賣出し　大京城菓子界の權威　製菓博士　本城屋

大奇魔術傳授書　奇術研究會

一陽來福　新年の運試　各一千圓付一月大抽籤　第六十七回　小尾兩替店

アンチピリン丸　蛇印

東洋一の魁

靴と鞄　內田靴鞄問屋

米　朝　合資商店

富の道しるべ

花柳病外科專門　司生堂醫院

亡妻葬儀の節は嚴寒中御會葬被下難有御禮申上候　大坪　友人　親戚

左甚五郎

第百十七席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

三代將軍家光公が日光の東照宮を御普請を遊ばされまするに就て、陽明門俗に日暮御門と云ふ、何故日暮御門と云ふかと申しますのに此の御門を巨細に拜見をいたしてしまふ、居りますると日が暮れてしまふ、ウカノヽと一日の日を暮すと云ふので日暮御門といふ綽名がついた位、實に其の結構云はんかたはございません。扉は生地に[illegible]に[illegible]、柱は櫻の丸柱、唐木の草の彫刻、極彩色付け草花鳥獸の彫刻、額は後水尾天皇の御宸筆でございます。[illegible]ものは活々として居ります。三階の神輿、續いて門東の[illegible]の延寳、猫の門と稱へます、御廊の東蛙股の内に[illegible]の彫刻をしてある。是は甚五郎の作でございます。一の[illegible]五重の塔は十七間三尺ある。[illegible]の花[illegible]、實に日光を見ない内は結構と云ふなと、[illegible]から能く申します。で、先づ陽明門の[illegible]は松平和泉守[illegible]を申します。大工[illegible]日光に[illegible]

間は人物に鳥獸の彫刻、入口の天井は八方睨みの龍、圖を跨いで内の天井が四方睨みの龍、上り龍下り龍、是が狩野探幽守信の筆でございます。十二本の柱は總塗にして唐木で埋木にしてある、柵は二重角になつて、其間は極彩色、逆柱龍に子還柱龍、恐悦飛越の獅子、何故恐悦飛越の獅子といふかと申しますと、是は家光公が初めて日光へ成らせられた時に、何うも御機嫌が快くない、俗は御普請が御意に叶はんのかしらと、御役人方が大きに心配をいたして居りました時に、獅子が飛越して居る圖を御覧になつて初めてニツにお笑ひ遊ばして、あゝ能く出來をいたした、役人共一層骨折であつた、と御機嫌が直つたといふ、乃で恐悦飛越の獅子、頓に其の息込といふ未だに出來いたさざることでございます」と申上げたので然らば茲で松平和泉守へ御沙汰に相成お上からいたして栗原遠江へ至急す栗原遠江といふ人[illegible]の[illegible]、つて七分通りしか出來ませんと大分手間が取れる、餘り長引きますから三代將軍家が或一日彦左衛門を召され「家[illegible]て出來をいたさん、何うも[illegible]いふもので左樣に手間取るか」とお尋ねに相成つた時に彦左衛門が「彦、是は嚴しく御沙汰あらせられましたが宜しい、等閑りにいたし居りまするから、

出精に及んで出來をいたすやうに、と嚴しく仰せ渡されまするを、栗原遠江が「遠、何分何うも非常な手間仕事、左樣お急ぎなれば江戸から然るべき大工をお差向けに相成つて一日も早く出來をいたす樣願ひます、私一人の手際では何と仰せられましても然う急に埒の明きません」と手強く申上げたは、日光の御大工棟梁栗原遠江が手を下して仕事をして居る、江戸大工が一人だつて日光へ乘り込んで來る者はない、三年かゝらうが五年かゝらうがそれは俺の了見、何を知つて居るものかと却々な天狗な人でございますから手強く申上げましたので、此段を江戸表へ言上をいたしました、乃で家光公が彦左衛門を召してお尋ねになると大久保が「彦、左樣申すなら江戸から大工をお遣しなさいまし[illegible]を用[illegible]をいたす樣[illegible]るべく、[illegible]られる甚五郎、彼の者なれば決して[illegible]支はございませんから彼に仰付られまする樣」「家、成程、其方に申付るによつて宜きに取計へ」と御沙汰になりましたから、直ぐに彦左衛門より甚五郎を招きました

外科一般 皮膚科 花柳病科 淋病 泌尿器科
院長 安部修三
安部醫院
京城永樂町二丁目金光教會隣 電話一九[illegible]番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剥製調進 剥製修理
京城本町二丁目 貿易商 樽元商行

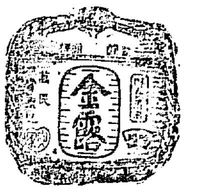
愛しや木村屋 ぬしや山邑よ
甘露辛党の新世帯
（京城明治町 電二六七）

暦 十二月二十日 九星 舊十一月六日 丙申 本命六白 乾 戌 佛滅
[illegible]

診察時間 自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

最新式仕立 背廣冬服（三ツ揃）
特（スコッチ、アクダメルトン、[illegible]）金參拾九圓
甲（[illegible]）金參拾六圓
乙（[illegible]）金參拾圓
オバーコート [illegible]
△オバーコート専用厚地綿紗[illegible]
△地方は御申越次第[illegible]
京城大平通 京城日報社代理部
振替京城[illegible]

内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七九番

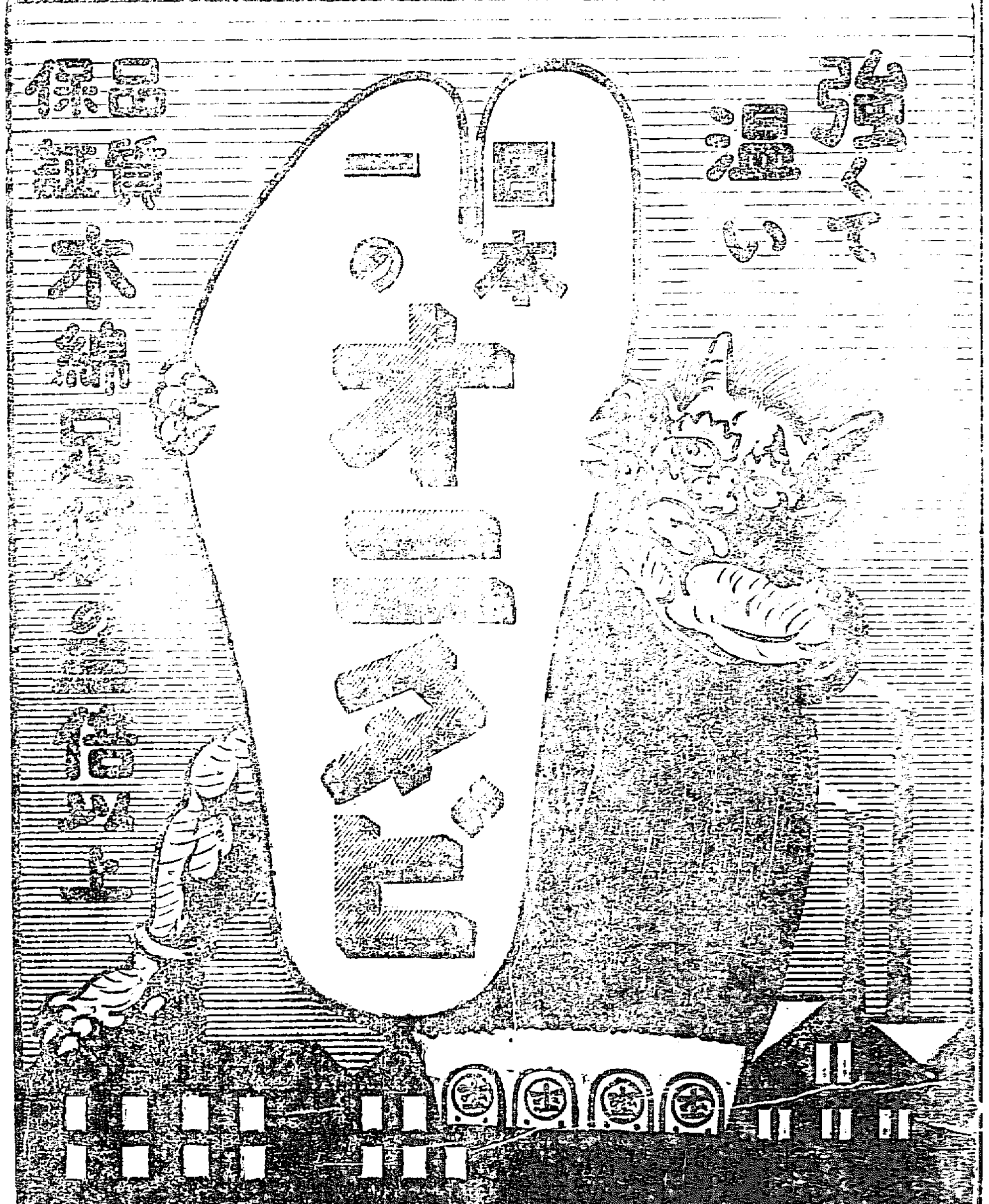


攝津灘 大塚醸造所吟製
京城本町二丁目 特約店 前田酒店
電話一三七番 振替口座四二五番

當銀行ハ預金、貸付、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
朝鮮銀行
本店 京城 電話[illegible]
支店 出張所 東京、大阪、[illegible]
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

中央婦人病院
京城明治町二丁目（元總督府醫院下）電話二三四〇番 院長 [illegible]

年末年始の贈答品！
其れには慾ひ新築の麗つたものより、今年も年々の吉例に倣つて……
ウヅマキ石鹸
年末年始の贈答品！
其の月旦にお迷ひなく今年も是非本品を御利用下さいまし……
思ひ立つたが吉日
是非今ダス御用意下さい
天野[illegible]五郎



汽車 京釜線（南行）（北行） 京義線 湖南線 京元線 京仁線 [illegible]

京城日報　第五版　十九日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

同新株	二三〔…〕	
〔…〕	二〇四、〇〇	
〔…〕	一三一、二〇	
大阪商船	一七五、三〇	

▲十八日後場（雪・押目買勢力…）

	當限	中限	先限
寄附	二二、五六	二二、六〇	二二、四六
高値	二二、六五	二二、六七	二二、四九
安値	二二、五六	二二、六〇	二二、四五
引け	二二、六三	二二、六七	二二、四九

▲十八日後場 仁川期米 小安き入電に當限二十圓九十二錢と六錢安に〔…〕節八十一錢八十錢四節八十錢〔…〕八十錢一錢二錢

▲仁川在庫品 本月十五日

仁川米豆取引所 十七日の二月限〔…〕

本紙定價 一ヶ月金〔…〕 廣告料金 〔…〕
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話〔…〕 振替貯金口座京城〔…〕
發行兼編輯人 〔…〕 印刷人 〔…〕

京城日報　冬期戰局

千九百十四年八月大戰役開始以來、冬季は戰局上一大段落を劃する慣習たるに、此の度は聯〔…〕尾に及びて戰闘甚だ急なるものあり、伊太利に於ける獨軍の活動著しきは已まず、西部戰線に於ける敵軍は日に日に增加し來るといふ有樣なり、加之獨逸は去十一月四日限を以て、封鎖區域を擴張したることを各國に通告するあり、一々人の耳目を動かすに足るものあり、蓋し獨逸は此冬期を以て其最後の努力を盡さむとするものたり。

最近の戰役に就て之を觀るときは、聯合軍は甚だ不利の地に立つものゝ如し、乃ち伊太利軍は一歩一歩退くのみにして、何地にて自ら支ふるの計ありや、未だ明かならず、西部戰線カムブレーに於ける、英軍亦退却の已を得ざるに至る、窮餘の獨逸をして此勝形を制せしめたるは、如何にも心外千萬なれども、是は主として露西亞が挫屈して、休戰を乞へる爲めに、敵をして其兵を露國戰線より移して、伊太利攻擊及びカムブレー强襲の事に從はしむるに至れるに是由る、昨今英國其他より來る報道連りに敵の壓力の益々强大を加ふることを傳ふるが如くなれども、獨逸墺國とて決して無より有を生ずべき道理なく、其勢力を增加したりと見るべきは只露國戰線より移し來れるもののあるに過ぎずして、其力自ら限りあり、其の爲す所亦推して知るべきなり。

此大戰役は開始以來既に四年を閲みしたるを以て、各交戰國民皆相當の疲困を感ぜざるはなく、一部の人は平和回復を願ふの情なきにあらずと雖も、疲困は交戰者の當然の事なり、今更これ有るを怪まず、特に四年間列國の攻團の中に在るところの中歐同盟國すら、今猶ほ其惡戰苦闘を繼續しつゝあるに鑑みても、我味方たる協商諸國民は、此に挫屈すべき道理なく飽まで奮闘して最後の勝利を得ざるべからず。

且北米合衆國參戰以來、我味方に新たなる大勢力を加ふるあり、米國政府は西部戰線に二百萬の陸兵を出す經畫を立て、日夜其準備に忙しく、今年末までに十萬以上を送り出し、來春より每月二〔…〕以上を出發せしむる都合なりと云ふ、米國陸軍の大活動を見るは、何の日か未だ知るべからずと雖も、米國民の志氣に於ては、必ずや其兵力を盡して思ふ存分の働きを爲して已むべく、米國大統領及び國務卿の揚言する所に依れば、其〔…〕力を以て獨逸を征服し、其君主制を排棄し、其軍國主義を根絕するにあり、如何なる場合に於ても、獨逸皇帝と和を講せずと云ふ、洵に壯なりと謂ふべき也、然れども是れ獨り米國政治家のみ之を云ふにあらずして、英吉利政府及び國會の有力者の言ふ所亦相同じく、協商國の求むる所は永遠の平和にあり、然るに今日の戰局の下に和を講ずるが如きをあらば、其は一時の休戰のみ、決して平和を持續すべからざるのみならず、各國內の混亂を招くことを避くべからず、是れ英米諸國民今日に及びて、戰爭の前途猶ほ長きを云ふもの多き所以なり。

支那漫遊　人及び書籍

蘇峰生

十一月二十一日亦た好天氣也。正午銀行見王氏の邸にて、午餐。去りて鄭孝胥氏を訪ふ。氏亦た復辟派の一人也。更らに李經邁氏を訪ふ。氏は未だ多く四十を出でず。李鴻章の質子にして、其の面目宛然小李鴻章也。而して其の機略、權數、人を呑むの槪、往々其の應接、言論の端に暴露す。氏若し時めて已まずんば、必らず支那に於ける、一個の人傑たらむ。啻だに名家の子弟たるが故のみにあらざる也。

氏の議論は、當否は姑らく措き、極めて痛快也。曰く、段祺瑞の武力解決は『政策として惡しからず。但だ其人を得て之を行ふ能はざるを奈何。』又た曰く、共和政治は、支那に於て尙ほ三百年早しと。更らに氏は歐亞に於ける、帝國的大同盟を夢想せり。惟ふに氏の議論に、照應する者あらば、恐らくは大谷光瑞師ならむ。予が茲に之を詳記せざるは、之を紙上に記するには、餘りに重大なれば也。氏は極めて流麗なる英語にて對話せり、予は繰り返し氏が日〔…〕を望む〔…〕し議論は別として、予が滿足〔…〕個合したる、支那各方面の人物中、尤も多く予に刺激を與へたる〔…〕は、端方伊氏と、李經邁氏に也〔…〕兩人は、善かれ惡しかれ、〔…〕於て、何事をか做し得可き好〔…〕思ふ。

此より約一時間を偸み、ゼスフィールト路の公園に遊ぶ。地僻境幽、門を入れば一個のプラタナス樹、大を擎げ、地に蟠り、飛揚跋扈、獨り自ら秋光を占斷するものゝ如く、庭を壓して立てり。予は公孫樹の次ぎには、斯樹を愛す。曾て新宿御苑に於て、斯樹を見、〔…〕を逍る數回、嘆美幽賞、禁ずる能はざりしことあり。而して今日見る所、亦た多く之に讓らざる也。

菊花は聊か霜に打れて盛りを過ぎ、楓樹は霜を帶びて、今を見頃の潮合となす。竹あり、杉あり、曲徑幽蹊、互ひに相ひ交錯す。而して滿園寂々、殆んど人蹤を聞かず。

荷露溺處竹徑通。叢樹堂室百尺雄。滿林紅葉人不見。孤節獨立夕陽中。

蓋し實況也。

更らに前約を趁ひ、劉承幹氏を訪ふ。氏の嘉業堂文庫は、今や宋元の善本、明清の古鈔、あらゆる珍籍を以て、一方に雄視せり。予は僅かに其の一斑を瞥見したるも、實に自から好書癖を、悔いざらんとする能はざる也。氏は單に蒐集家のみならず、亦た貲を投じて、其の藏書を刻し、後學に嘉惠する所少からず。

會者は主人を始め、數日前京都より還れる羅振玉翁、及び王國維、蔣汝藻、張增熙、葛昌楣、何れも浙江出身者にして、皆な好古の士也。晩餐卓上語る所、槪ね風雅の事のみ。予は劉氏の文庫に、數時を費して、數月を費す能はざるを慨みとす。還るに際し氏は其の刻書數種を贈れり。此日予の爲めに案內し、且つ通譯の勞を取られたるは、鄭友西本君にして、氏に負ふ所多し。

大正六年十一月廿二日午前六時
上海に於て

京日詩壇

〇歲暮所感　忘機吟社　齋藤三寅

迷窮陰欲掃心塵。笑對孤檠也忘貧。〔…〕

評曰天下詩人多同其感。

〇同　上　古城　梅溪

〔…〕

評曰〔…〕

〇同　上　江原　如水

〔…〕

評曰時事家事〔…〕

〇同　上　兒島　九皐

三十六旬如夢過。歲云徂暮感殊多。衙衣走食無他事。贏得鏡中雙鬢皤。

評曰感慨不盡。

〇同　上　藤原　〔…〕

由來貧富〔…〕先天。一事無成〔…〕。酒債不償詩債〔…〕。五更敲句送窮年。

評曰頗有流亞。

〇同　上　大陸　鵜仙

大地皆除一味寒。爲僧四十二三年。〔…〕

評曰起七字如霜夜之鐘。

〇同　上　成田　魯石

夢裏冬將十年〔…〕。〔…〕無一事家乘〔…〕只看二毛加鬢邊。

評曰余亦同感。

〇同　上　田淵　桑州

容易經過又一年。往時如夢獨悵然。天恩佑特妻兒健。遮莫世人呼瓦全。

評曰語出于肺腑。

せうして（十八）

布施生譯

銳氏は更に皮肉らしく『さう言へば貴女のお名前は今は銳伯爵夫人でしたね、御親戚の方は〔…〕がお厭くて彼在るでしやうなあ』未亡人はちらと眼から稻妻を走らせたが直に其眼を伏せて仕舞つた『貴方いやに皮肉におなりなさいましたのね、昔の貴方とは全然お人が變つたやうで御座いますわ』『そりや貴女、自分で細工したものですら一旦手から取落すとなると之がまた自分のものかと驚く事すら有勝ちやありませんか』未亡人は礑と扇を取落した『何でございますつて、それはあの──』銳氏の方は平氣で其扇を拾つてやりながら『なあに何でもありませんよ、此樣にお目に懸るかと思ふと直に別れなければならない場合に、何咎立てするやうな事を言ふものですか、私──』未亡人は固くなつて扇を受取りながら『待つて下さいまし、貴方は〔…〕にならない事を仰有いましたわね、咎立てと御存るのはどういふ事でございます』『はい其理由ですか、其理由と云ふのは〔…〕さん、いや與樣は貴女のお蔭で婦人と云ふ者を信じなくなつたのですぞ、氣のあるやうな事を言つて置きながら、位や金に眼がくれて他家の人の處へ逝く、貴女はそれで──』未亡人は〔…〕になつて、あら〔…〕方、私はそれ〔…〕貴方は〔…〕銳氏は默つて顏に熱い氣を感じ〔…〕程失禮致しました〔…〕今度は未亡人が頭を下げて〔…〕した、そして男の〔…〕く〔…〕膝まで繁々と見成つて〔…〕眼を潤めた、そして微かに情の籠つた瞳で『貴方昔はどんな事〔…〕を斷立て、其處之から〔…〕忘れる事こそ出來なくても〔…〕仕舞へない事は無いのでございます〔…〕仕舞ふ筈だつたのでございます、そして失望の餘死んで仕舞へば其かつたのでございます、けれど私も若うございましたの、ですからつい世間の面白さに心がくれ其貴女あんなにつまらないものとは知らず富や位が美しかつたのでございますわ、貴方は一年前私を御見棄て遊ばしてそしてまだ私を咎立てなさらなかつたのでございますね、私貴方を咎めは致しませんが、私雖昔が忘れたいので御座います』銳氏は見る〳〵顏を曇らせて『出來るもんですか其樣な、貴女も私も最早未來はありませんよ』未亡人が不同意らしく扇で顏へみやうにしたのを見て銳氏は一層詰寄り『いゝえ未來はありませんよ、成程昔々は昔の事は〔…〕れます、しかし昔を復活させる事は出來ませんよ、貴方だつてまさか復活させたくは無いでしやう、出來ないからこそ此問題は話したくないのでしやう、由緒さん私貴女に會ひたかつた、しかし二度と會ひたくはありません、いや失禮を申しました、それぢや之で御免』『仰有る事は何を仰有つてもいゝわ、それだからつて──』未亡人は眼に物言はせて銳氏を離しさうにもなかつた、銳氏は淋しい笑を殘してお辭儀をすると直にくるりと脊を向けた、未亡人も此方へ足を回した。

本場みかん賣出し〔…〕多數あり
御進物御贈答には紀州本場みかんに限る
來る十九日より三十日迄〔…〕以下配達御斷り
紀州産柑京城販賣所　薪炭、生魚、雜穀、果實、海産物　貿易商　若城馨商會　京城南米倉町市場　電話八四二番　振替京城一〇〇六番

廉價提供モーリス　陸海軍御用
○陸軍劍術教範制式
○銃劍術防具
○教練、學校御用
○擊劍術防具
製造販賣　軍用機械合名會社

移轉廣告
豫て新築中の弊社支部今般落成に付左記へ移轉致候間此段謹告仕候也
京城太平通二丁目十六番地（大漢門前）
日本公債株式會社朝鮮支部（電話一六〇二番）

主婦之友　新年特別號　家運繁榮號
七面鳥　岡本綺堂
運命開拓實例
▲辛福な新年を迎へる準備
▲生涯忘れられぬ母の訓言
▲何んな人が家運を開くか
▲七福神の身元調べ
▲若き主婦のための心得
▲赤坊を丈夫に育てた經驗
美人研究
▲美人國とはあるか
▲歷史上の日本美人
▲私の見た理想美人
▲美人となる三要素
▲美人となれる秘訣
開運獨占ひ（特別附錄）
家運繁榮物語
（一）良人が外出の時の挨拶
（二）良人が歸宅の時の挨拶
附錄　額面美人畫　鏑木清方
本誌特價四十錢　送料四錢
本日出來　東京家政研究會　東京市神田區表神保町二　振替口座三一七八六

東洋調帶株式會社募集

調帶需用增大　輓近機械工業の發展に伴ひ動力傳達用として調帶（シラベ皮）の需用驚くべき增進を示し年額優に一千萬圓を超過するに至れり。近く東洋の一大工業國たるべき我が日本の前途に鑑み、斯業の愈々有利有望なるべきは毫も疑ひの餘地なし。

調帶界の大勢　然るに我調帶界の現狀を見るに主要原料たる皮革は時局以來異常の暴騰を告げ戰後と雖も容易に市價の低落を豫想し能はざる今日、勢ひ綿糸調帶の需用は可驚增加率を示し到底內地生產の全能力を擧ぐるも之を補給し得ざるの現狀に在り。

會社の基礎　本社は即ち此の絕好機會に於て既往拾數年間我國調帶界に有數の地步を有し現に本邦屈指の調帶工場として目下夥多の注文殺到せる富坂合名會社の調帶部全部を買收し、外品を凌駕すべき實績ある特許權を行使して將に斯界革命の先驅たらんとす

製品の特色　本社製品中ストロングベルトは富坂合名會社が從來發賣しつゝあるものにして今や英國ギアクベルトに對抗し得べき我國唯一製品として既に頗々の好評あり更に特許キングベルトに至つては其中層に金属線網を挿入し應用化學上の發明を應用して綿糸調帶の最大欠陷たる伸張度を完全に防止したる空前の一大改良品たるを誇負するものにして、既に外國製優秀品と比較使用し之を凌駕し得たる實驗的證明を有す。

絕好放資物　堅實なる既設工場を買收擴張するを以て會社成立の初期より確實に一割の配當を豫期し得べく、尙ほ豫定の擴張設備完成後に於ける年三割の配當は吾人の信じて疑はざる所とす。

一資本金　金壹百萬圓也（總株數貳萬株一株金五十圓）
一募集株數　貳千株
一第一回拂込金　一株ニ付金十二圓五十錢也
一申込證據金　一株ニ付金十二圓五十錢也（但第一回拂込金ニ充當ス）
一募入方法　應募株數超過の場合は發起人に於て適宜之を決定す
一申込期限　大正六年十二月十五日より廿一日迄

東京市芝區南佐久間町一丁目三番地　東洋調帶株式會社創立事務所　電話新橋二五〇〇番

創立發起人總代　亘理胤正
顧問工學博士　谷口直貞
相談役　荒井泰治

發起人
大島要三（福島）　前島彌（東京）
增田德三郎（東京）　田中四郎左衛門（東京）
菊池良一（青森）　田邊熊一（東京）
平岡定太郎（東京）　村松繁一郎（仙臺）
森田退藏（東京）　富坂與八（東京）
竹谷源平（仙臺）　外十一名

贊成人
大谷嘉兵衛（橫濱）　吉村鐵之助（東京）
前川太兵衛（東京）　秋本喜七（東京）
角田眞平（東京）　大藪房次郎（福岡）
大倉喜三郎（東京）　理學博士 木村駿吉（東京）
若尾璋八（東京）　坪田十郎（神戸）
越山太刀三郎（東京）　工學博士 細木松之助（京都）
藪田岩松（東京）　大邊弘（大阪）
瀧定助（名古屋）　千葉胤義（東京）
ロベール、フツク（佛國）　外八十餘名

目論見書定款說明書申込用紙ハ前記創立事務所及ビ左記取扱所ニ備置候

申込取扱所
東京　第百銀行　大阪　第百銀行支店
同　豐國銀行　仙臺　第七十七銀行
同　若尾銀行支店　名古屋　名古屋銀行
同　東京銀行神田支店　橫濱　第百銀行支店

商業登記公告
商號新設 商號 日米公司 營業ノ種類 建築材料並器械貿易 營業所 京城府蓬萊町四丁目〔…〕番地 〔…〕
右大正六年拾貳月拾壹日登記
京城地方法院

社員招聘
內務　部長一名　主任三名　書記三名
外務　部長二名　主任二名　書記五名
支部代理店取扱所の主任、外務社員若干名
右採用す　本人出頭履歷書持參　地方申込も履歷書送れ
人格と信用ある活動的紳士たるに限る
京城水下洞六五番地　電話一三二〇
有價證券全般賣買
株式會社 日本〔…〕 全鮮滿總支社

京日案內
普通一行〔…〕一回金十五錢　番外一回金〔…〕

△金融　月收の方に極秘信用貸便宜　京城花園町八七　大和屋質店　183
◎賄付貸間を求む　相當の家族的同居したし　南山町方面にて良家へ　但し四疊半を希望　姓名在社　184
◎今般左の所に移轉仕候　京城明治町三ノ九　電話取次長一五〇四　川崎醫院　高木獸病院　182
◎電話讓物あり　希望の方は南山町三丁目（電話二一〇三番）吉澤へ御來談あれ　巴城館　181
◎看護婦及び見習看護婦入用　希望者至急來談あれ　仁川宮町　松本病院　173
古本高價買受　御報次第參上　明治町通　野村書店　電話三〇五〇番　100
◎兩替　小錢　債券六十七回二千圓割增付あり　吉野町一　電話三〇番　古閑商店　162
給仕採用　年齡十五六歲の男子尋常小學卒業程度希望者は履歷書携帶來談　南大門通二丁目　大同生命保險會社　179
清酒百丁　格安品至急賣度し希望者來談あれ　黃金町三丁目　電話三四六番　杉本質店　174
商品切手　御便利に賣買仕候　京城永樂町二丁目五番地　丸五商會　電話一四九八番　170
◯はねつき　うちみ　くじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　87
恩給年金長期立替　利即時　三年分迄保險を要せず手數低安　京城日の出町十一　日の出學校裏門前　吉田屋　95

○政府軍汕頭退却

無線電信にて北京政府に達したる報告に依れば汕頭攻擊政府軍は九日間の戰鬪の後遂に衆寡敵し難く汕頭より退却し巡洋艦海容及び通濟に分乘詔安に向ひつゝありと（北京特電）

○汕頭無政府

廣東軍虐殺を擅にす‖死屍累々たり

廣東軍は十三日午後汕頭を包圍攻擊し十四日午前三時守備軍は遂に三隻の軍艦に搭乘して厦門方面に逃走したり、汕頭市街に雪崩込みたる廣東軍は盛んに虐殺を行ひ支那巡警良民等の屍體累々たり秩序は十五日に至るも恢復せず十三日夕刻我第三艦隊秋津洲は汕頭港內に進入し十四日入港の驅逐艦白雲と協力し日本人外在汕外人の保護に任じたり（汕頭特電）

○山東省で軍事大會議

討南方針協議‖張懷芝急行

天津會議行詰れるより大總統は十五日山東省に軍事大會議を開きたるが張懷芝、倪嗣冲兩氏の代表者及び李純氏の代理として第五師長張樹元氏其他文武官多數參會し討南方針に關し種々凝議の結果張懷芝氏は十五日天津に急行せり（濟南特電）

○李厚基氏へ訓電

馮國璋氏は福建督軍李厚基氏に訓電を發して政府軍全部を福建方面へ撤退せしめ援兵の到着を待つべしと命じたり（北京特電）

○龍濟光乘出さん

十二月十日龍濟光氏は兩廣巡閲使に就任する旨海南島にて發表し告示して曰く廣東省の爭亂は不日兵を出し鎭定すべしと（廣東特電）

○長山馬賊團全滅

長山に潜伏せる馬賊團逮捕の爲め出張せる我憲兵は之を包圍全滅せしめたるが其際邦人二名支那人五名死亡し憲兵一名負傷せり（濟南特電）

○過激派失敗す

西伯利亞に於ける憲法議會議員選擧は十一月二十六日より三日に亘りて行はれたるが浦鹽、ニコリスク、ハバロフスク、ブラゴベチエンスクを通算せる約五萬票の平均黨派別を見るに過激派はニコリスク浦鹽にて半數以上の當選を見たるも其の他に於て劣勢なりし爲め大體を通じ四割五分を超過するに至らざりき同派が最初六割當選の豫想を爲し斯く失敗せるは西伯利亞に於ける反抗熱の案外鞏固にして望あるを示すものなり（浦鹽電報）

○日本汽船三十萬噸供給說

十八日大阪入電に依れば巴里會議の結果日本は佛國へ三十萬噸の船舶を供給するに決せりと（大阪特電）

○大阪會頭認可

大阪商業會議所會頭（十八日附）認可されたり（大阪特電）

○航路補助問題

戰後、運界の常調に復したる結果[illegible]

當業者の主張する處を聞くに元來航路補助の目的は貿易の保護にあらずして航路の維持にあり而して[illegible]すべき補助航路[illegible]航路の差異著しく自由航路にあつては三四倍の[illegible]の運賃を徵[illegible]に於ても六百萬圓の經費節減を得る譯にて一噸船主中には[illegible]るも戰前に於て爭うて補助金を得んと競爭したる者が今日に當り急に手の裏を返すが如きは不德義の[illegible]

○中村都督門司發

中村關東都督は部居滿鐵理事と同船にて歸任の途に就きたり（門司特電）

○觀戰武官歸國

支那觀戰武官新上將の一行は十七日八幡製鐵所を視察し十八日門司著商船臺中丸にて大連經由歸國せり（門司特電）

○五州輕鐵出願

鈴木の計畫

神戸鈴木商店に於て計畫中なる湖南縱貫輕便鐵道は既に忠南道廳に願書を提出せる趣にて未だ全北道には回送し來らざるも關係者一人は曩に一部長を訪ひ特に便宜を與へられ度き旨依頼せり其設立の要を聞くに資本金六百五十四萬圓哩數二百六十四哩（夕刊所報と同じ）に達するも取敢ず電文の儘を掲ぐにして公州より全州を經て松汀里に至り一は津村里より分岐して[illegible]山に通ずる布設計畫なりと（全州特電）

○兩學校設立計畫

元山學校組合評議員は十七日守備隊の引揚げたるを機會に中學校及び水產學校設立の計畫を爲し之が建議書を府尹の手許に提出の筈なり（元山特電）

○ル氏朝鮮統治稱揚

▽目賀田男前大統領と會見

「紐育電報」目賀田男は伊藤文吉男及び菱田委員と共に十一日ニユーヘブンにて前大統領タフト氏と會談せり十二日目賀田男菱田委員等は前大統領ルーズベルト氏の令妹ロビンソンドウグラス夫人の茶話會に招待せられルーズベルト氏と面談せるがル氏は朝鮮に於ける周到なる善政を稱揚したり

○葡萄の政變

其性質と新政府

最近の電報を綜合するに今回の葡萄牙政變は正に革命的運動とも見るべきものあり豫て大勢力ある民主黨首領にして內閣の首班たるコスター氏の施政に對し反對黨は從來より窃に反對運動を企て居りし模樣なるが偶々コスター氏及び外務大臣アウグストソアレス氏が巴里聯合國會議に列席せる不在中リスボンに於いて食糧品缺乏の爲め勃發せる騷擾と相俟ち統一黨の蹶起を見るに至り同黨の領袖シドニオパエス氏の主動の下に政府の顚覆を計り軍隊の一部と連絡を通じ市街に亙つて遂に其目的を達したるものなり此結果コスター氏はオポルトーに於て捕縛せられソアレス外務大臣は巴里に引返したりとも言ふ而して該革命黨は一面宣言を發表して曰く新政府は秩序を尊重し且つ現在の戰爭に關し從來の同盟國たる英國及び他の聯合諸國との關係並に約束を維持するに努むる人士を以て組織せらるべしと[illegible]は先づ當面の措置として共和國創立者たるに依りマシャードドス、サントス氏の釋放を命じ同氏は恐らく新內閣の一員に列すべしと想像せらる（東京）

○鐵の自給は刻下の急務

驚くべき米國の產鐵額

八幡製鐵所長　服部工學博士談

（承前）世界に於ける鐵鑛の產地として瑞典地方を其の尤なるものとし年々百五六十萬噸以上の鑛石を英國獨逸、佛蘭西等に輸出して居るが最近米國の產鐵額が激增したのは誰しも▲一驚を喫する所であらう即ち戰前迄は米國が三千萬噸英吉利が二千萬噸獨逸が一千萬噸と言ふ計數に成つて居たが戰後米國は一躍して四千萬噸を產出する樣になつたのである元來各所に散在する製鐵所にて各々小規模的事業の經營をやると言ふ事は或は企業者の技術及び或る一部の事業に對して其々進步發達を遂げ効果を擧げる事は出來るかも知れないけれど全般より推して鐵の生產額を增大せしむると言ふには迂遠な樣である其れよりも寧ろ▲現在米國等で採つて居る方針の如く各製鐵所分立し大小一通りの事業を經營して鐵を產出すると言ふ方が其の經費の點よりするも生產額の增加と言ふ見地よりするも有効である假令ば鐵の製錬と言ふ事に必須な純良なる骸炭製造の如き或は硫酸安母尼亞の如き何れも其の副業として經營する方が畢竟經費も少くなると言ふのである蓋し其の輸送上不便不利を感じたり若くは硫酸安母尼亞の如き輸送危險其他種々な厄介な事が起つて冗費を多くする結果に陷るからである孰れにしても▲刻下の急務は鐵鑛を採出すこと、製鐵原料として缺ぐからざる骸炭を得べき適當なる炭をより多く產出せしめる事に[illegible]る鐵の價格と言ふものは他の總てのメタルよりも最も低廉なるものであるけれども其の製鐵原料に大部分八九割を吸收せられて勞ひ[illegible]ばなるものとなるのである

◎金融機關整備計畫（上）

農工銀行の統一及び增資と聯合金融組合設置の計畫

度支部長官　鈴木穆氏談

度支部の所管に屬する經濟上の問題に就て考量するとき新たなる施設又は從來の其れを改善するもの適當なる施設を加へ昂上の步を進むるの要あるもの多々あるが中にも▲金融機關の整備は殊に其の緊要事たるを認むる、而して農工銀行の統一及び增資は、本年度に於ける度支部の計畫中最も重要なるものゝ一つである、現在六農工銀行の資本金は合計約二百五十萬圓に過ぎない、此小額の資本を以て各銀行各別に、全鮮に亙りて農工其他の資金を融通しつゝあるのだが從來はそれで可かつた▲經濟界の狀態が於上を望むの處ろ無理であつたかも知れない、併しながら今日に於ては、農工業等一般產業の發達著しきものあり、出て之が要求に應じ更に其の進展を促がさんが爲めに、資本金を增大するの必要がある、同時に、銀行の統一を行ひ各地方の情勢に應じて適宜資金の供給を爲さば、其融通を敏活にし增資に依て潤澤にされたる農工資金を▲十分に活用することが出來て、需給の按配も甲地に厚く、乙地に薄きが如き遺憾なきを期し得らるゝであらう、次に之れと殆んど同一の理由の下に、地方金融組合の聯合組合を設立せんとする計畫を立てた、地方金融組合の現在數は二百五十內外で、其資本金は平均一萬圓、各組合員は平均三百人位である、之は主として小農に對して▲低利資金を供給する極めて有力なる下層の金融機關であることは世間周知の通りであるが、從來毎年十箇所宛新設することに成つてゐる、將來は年々二十箇所、三十箇所、或は四十箇所に增設するも必要に應じて多々益々增設するも宜しい、確かに其の効果のあるべきものであるを疑はない、而も▲既往の經驗に徵すれば之を整成することに依つて其機能を伸べ、其効果を大ならしむることを得ると信ずるのである、今貸付金の限度を引上げ、其範圍を擴張したのは卽ち整成の第一步である、夫れにしては組合の資力を充實せしむることが鮮銀行と同樣、時勢の急務に對應するものであらう、但し資力充實の方法に就ては目下考案中であるが、既に最も欣幸とすべきは、中央政府に於て低利資金供給の責任を有することである

◎農村好景氣

高野三井支店長談

最近の朝鮮財界を概觀するに景氣は頗る好況なるに似たり秋收以來各地共▲米豆の出廻り薄を唱ふる向き多きが其の出廻り薄の原因は農家の懷ろ合ひ宜しく其の手持品の放資を急がざるためにあるものゝ如し蓋し例年二月の地租納付は農者にとり最も苦痛を覺ゆるものなるが本年は殆ど其の模樣なく農村金融の潤澤は想像以上にあり之れ朝鮮生產品が春來大部分好價値にあり內地資金の流入少なからざるに坐するものゝ如し乃ち▲繭價の騰貴による在鮮養蠶家の收入增は少なからざるものあり朝鮮鑛產品就中黑鉛等の內地移出は非常の盛況を呈したり殊に最近の米並に大豆の收穫增及び昨年に比較して其の數量增加の狀況は益々農民の收入を增進したり從つて彼等の購買力を增進したりと見るを得べく各品共に常高値にあるに拘はらず其の商勤きは案外活氣あり代金の回收亦之を既往の各年に比し概して遲滯を生ぜざる模樣なり

◎山崎氏送別會

在京城一商會有志は十八日午後六時より清華亭に於て饗宴を開き近く東上すべき山崎猛氏を招待し惜別の意を表したるが出席者は官吏側多數なりしと

◎十五年振りに支那を視て

內藤湖南博士談

（奉天特電）十七日夜北京より來奉せる京大教授內藤湖南博士の談に曰く『過去二箇月間の支那旅行は南京上海杭州蘇州漢口地方を經て北京に到れるものにして山東は始めてなるも長江沿岸地方は十五年振の旅行なり長沙に騷動勃發の二、三日前に行きたるが船の無きに苦しみたり北京滯在中は政局の紛糾其の極に達し殆んど見當つかね有樣なりしも現▲王士珍內閣も前內閣に引渡し度しと申込める由或は局面の推移を見る可きかとも觀測さる支那は相變らずの支那なれども一部の人々には眞に國家の材たるもののありて漸次各方面に進步の跡を見る現に余の舊知なる大理院長董康氏の如きは支那には珍らしき人にて氏の在るが爲め支那の司法部は極めて嚴正にて部下には有爲の青年を網羅して眞に私心を用ひず目下公務の整理されたる事に於て▲支那隨一也　尚今次の旅行は歷史的調査と云はむよりも寧ろ一般の觀察と稱す可く奉天には四十五日の春來れるも宮殿內の寶庫には余等の希望に絕へざる滿洲文字の文獻を藏せり尚京城には十九日夜着廿日夜同地發東上す可し』と

◎滿鐵煙草試植

滿鐵地方部にては滿洲の氣候並[illegible]三町步の地を卜して得利寺に在來本種の鳳凰城には米國種の試[illegible]

人事消息

▲マクマーレー氏（北京米國公使館書記官）十八日夜入京南山ホテルへ
▲谷口與四郎氏（實業家）同夜退京宮川へ

◎白耳巨種◎

米國に小澤東[illegible]件と云つて日本人の帰化問題に關する八釜しい事件があつて目下大審院まで行つて居る▲此の辯護士は前大統領のタフト君とウイルソン君と大統領を爭つて負けたヒユーズ君と他に最う一名である▲處が其の謝禮料は勿驚二十萬弗で一寸鑑定を頼むでも五萬弗と云ふ思ひ切つた値段だ▲仲小路農相の兄さんで市三君と言つた人は非常な秀才で十三四歲で漢詩を作り十八九にして佛語に精通した非凡の材であつたが惜いことには夭折した▲農相曰く『エライ豊兒は早死し愚弟獨り頑健、如件ぢや▲粗製濫造と云ふ言葉はよく聞くが恐らく我輩の親は我輩の二番目なので聊か粗製を試みた氣味合ぢやらう併し濫造ぢやないよ▲全く豊兒だけには念を入れたものと思つてるが今では父が亡いので原敬氏の方をよせて其眞否を裁定する譯には行かぬ』と▲斯う云ふ考を持た人は豈一人農相のみならんやであらう▲露都の騷擾で非常な迷惑を被つて居るのは駐在の各國外交官である▲日本大使參事官の奧山清治君の如きは子供に飮ませる牛乳がないので子供は幾度も死に瀕した相な外交官も斯う云ふ處は遣り切れまい▲櫻谷黑田長成侯の近作『一藏暮賜玉臥悲賦記恩』と題し『一椀[illegible]』（係風一）

列車衝突事件判決

[illegible]

寫眞銅版、亞鉛版
京城日報社寫眞製版部

印刷インキ製造
京城明治町二の二　電話三一六　振替京城二二五
櫻井商店

最新刊
縮本稗史小說 第一集　三八
漱石俳句　夏目漱石　一〇〇
小說人之心　稻岡正文　一〇〇
宣言　有島武郎　五六
夢と六月　四〇
結婚論　バナンド・ショウ作　野上臼川譯　七〇
運命の影に　松崎天民　五〇
死ね人　グルイコナノムスヰナ作　六〇
現代の男女へ　平塚明子　一四〇
戀と死　六五
山水小記　田山花袋　一一〇
第十一回美術展覽會傑作畫集　七〇
通俗倫理談　一〇〇
創定大斜定石法　一八〇
新渡航法　一〇〇
最近移殖研究　一四〇
歐洲の貢[illegible]　一八〇
英國戰時の努力　一〇〇
運命之研究　一八〇
大奥の女中　一二〇
朝鮮經濟年鑑　一七〇
訂工業經濟論　三〇〇
[illegible]　二二〇
大阪屋號書店

謝近火御見舞　仁川宮町　中野谷庄太郎
謝近火御見舞　仁川宮町　福田久藏
謝近火御見舞　仁川宮町　吉田仁右衛門
謝近火御見舞　仁川濱町　仁川鐵工所
謝近火御見舞　仁川濱町　橋口勘右衛門
謝近火御見舞　仁川濱町　片山雜貨店
謝近火御見舞　仁川濱町　西林商店
謝近火御見舞　仁川濱町　中島商店
謝近火御見舞　仁川濱町　天日精米所　仁川支店

景品附歳暮大賣出し
ドウダカと思はるゝが如き品は弊店の店頭には一つとしてこれ非ず
旅行家は弊店製造の鞄を御購求を乞ふ
京城明治町二丁目
古賀喜鞄製造所
電話一八三三番

京城電氣會社製　特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八（電話四九番）
金物商　島田忠作商店

お正月のおはきものは井上に御用命願います
御進物用には格安物種々取揃へ居ります
御買出景品券進呈
京城本町二丁目　電話一三七五番
井上履物店

開業一週年記念大賣出
一萬個限特價提供
年末年始の御贈答品

滋養美味
元山名產　かきしほから

◎滋養豐富美味なる副食物にして四季變味の憂なし
◎容器は體裁優美なる高麗燒なれば輪差妙なり
◎朝鮮土產の逸品にして一輪差に尤もよし
◎從來の容器を改良し二合入を二合五勺入とし卅五錢賣を一萬個限り特價卅錢にて提供
（酒ビールの下物に尤もよし）
發賣元　横山兄弟商會營業部　元山本町四丁目　電話三六番　振替口座京城一六〇八
臨時出張所　京城旭町二丁目
京龍特約店（順次不同）
辻本商店　池尻商店　島屋商店　川西販賣所　津村兄弟商會　海市商會　桑原商店　田村商店　下川商會　玄武堂　博多屋安藤商店　池田商店　松屋商會　賣店（龍山驛構內）　賣店（南大門驛構內）
外各雜貨店に有り

[illegible]命令の辭退をなすものさへあり一時社命令航路の運命危かりしが當州命令布以て漸く其發を開かざるが[illegible]に於ても損益を度外して[illegible]る狀態にあれば航路の趣旨よりすれば勿論之を廢止するに何等の差支なし殊に運賃關係に於て補助自[illegible]能はず折角の好機會を逸す[illegible]あれば直に米國航路の如き強調補助を辭退し自由航路の內意ありといへば之が實現の曉には政府[illegible]を以て補助しつゝある關東州命令航路に影響する事なきを保せざ[illegible]定し運賃の制限を[illegible]命令し得る事なれば大會社に在ては一時の爲めに永久の利益を棄つるが如き事なかるべしと(大連)

[illegible]のありて此程より種々調査の歩を進め居りしが愈々來年度に於け[illegible]最も[illegible]植[illegible]過地なる得利寺驛附近約一町步並に鳳凰城附近[illegible]るが若し本試植が良好の結果を得るに於ては滿洲開拓上大いに貢獻する所あるべし(大連)

●製粉は氣迷ひ

內地製粉[illegible]大手筋にて種々の策を試み或は原料の漏るより製品の買占を斷行するあり之れが爲めに製粉にもならぬ暴騰を演じ[illegible]以て[illegible]の相場を或は天井とし一頓挫を[illegible]きを假し[illegible]の昨今は漸く迷ひに陷りつゝあり[illegible]當市場にては便船每に契約品到着の[illegible]

[illegible]に於ては十七日[illegible]にて前記[illegible]手[illegible]久保[illegible]造役[illegible]部[illegible]掌上井[illegible]の兩名[illegible]一[illegible]の判決言渡ありたり(平壤)

●歐洲戰で盛んに使用する
毒瓦斯の恐るべき威力!!!
毒瓦斯を砲彈又は擲彈に仕込む
總督府醫院長 芳賀榮次郎氏談

扨て此の毒瓦斯は何うして造るかといふに、前述の如き製法に據つて出來た瓦斯を強度に壓搾して液體となし、寫眞に示す如き器具中に收めて戰場に於て之を使用するのである一寸此の器具の說明をして見ると圖に示すが如く『い』は空氣を壓搾して液體となせしもの其の上の活栓を捻ると『ろ』に入りて氣體となり、其の次の

▽活栓を捻ると管を通つて射出

するものである『に』と『は』と『ほ』は敵の著たる中毒豫防衣であつて『に』は空氣を壓搾して容れたる背囊『は』背囊より腋の下を通じて口に持つて行く管『ほ』は藥液を綿又は麻屑に含ませて毒瓦斯の吸入を防ぐ裝置である。而して眼の所は硝子又は膠板(ゼラチン)を箝めてあるといふ。之を使用するには風向を利用し且つ強風の時は飛散する事が早いから微風の時を選び又た

▽濕氣のある天氣の時は無効に

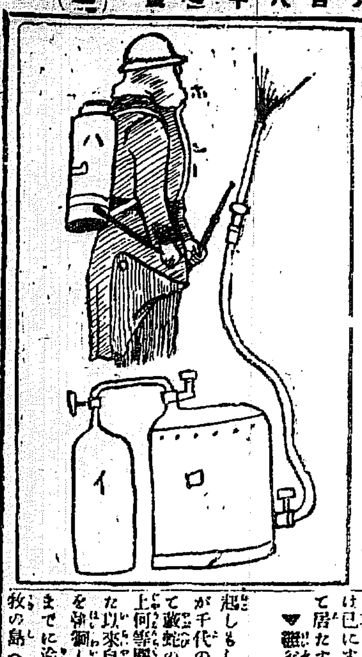
移る事が多い、といふのは空氣に濕度があると此の瓦斯は水に溶け易いから有効に働かなくなるのである。故に天氣が晴れ〴〵して乾燥した場合で且つ風が微風位の程度である時でなければならぬ……といふと朝鮮抔は誂へ向きである……英軍が初度に惱まされた時の毒瓦斯の發散し方は前面約五哩の廣さ約四里に及び盛んに濃な……として何んとも云へぬ黃褐色惡臭ある瓦斯を放ち

▽半里も後方まで害毒を及ぼし

而かも一里の後方まで匂つたといふ事である。近頃では英佛軍でも此の毒瓦斯を使用するは勿論兵隊や士官は何れも此の豫防衣を着する樣になつた。殊に此豫防衣は戰場に近き所に於ては普通の人民も外出の時著けるさうである、而して近時は此の毒瓦斯を砲彈又は擲彈に仕込む樣になつたといふから石投げの上手な朝鮮人には[illegible]もつて來いの武器であらう。處が

▽卑怯な事には最初獨逸で之を

使用する前、出鱈目な報告を戰場からして、敵が毒素のある瓦斯を使用してゐると稱し盛んに新聞紙を利用して國民の敵愾心を煽らせしめ一方に公法に反く事を胡麻化さうとした杯は中々以て油斷のならぬ事であつたのである(をはり)



●昌德宮內殿の再築

過般炎上したる昌德宮內殿の再築は景福宮內の康寧殿及び交泰殿を移して之に充つべく該建物は附屬家屋を併せて約八百坪位のものなるが右は疾に總督府の所管に屬し目下國有となり居るを以て總督府當事者と交涉中なりと而して今回新築の內殿は洋館となすべしとの說あるも同宮內に於ける他の諸建物に對して洋館を新築する事は調和上不均なるを以て寧ろ朝鮮式宮殿を建營するに至るべく右は目下總督府技師の手許に於て調査設計中なる由

●この母この子
▽女醫學生娼妓となる▲

去る二十六日釜山牧の島貸座敷舞鶴樓から前借二百五十圓で鶴治を名乘つて屆出た女があつた原籍は福井縣遠敷郡今富村湯岡淺沼千代(二十三)と云ひ雇主だといふので警察署からは直ちに小濱警察署へ照會して見ると千代の母親といふのは鄕里で

▽正業について中流以上の生活を營んで居る

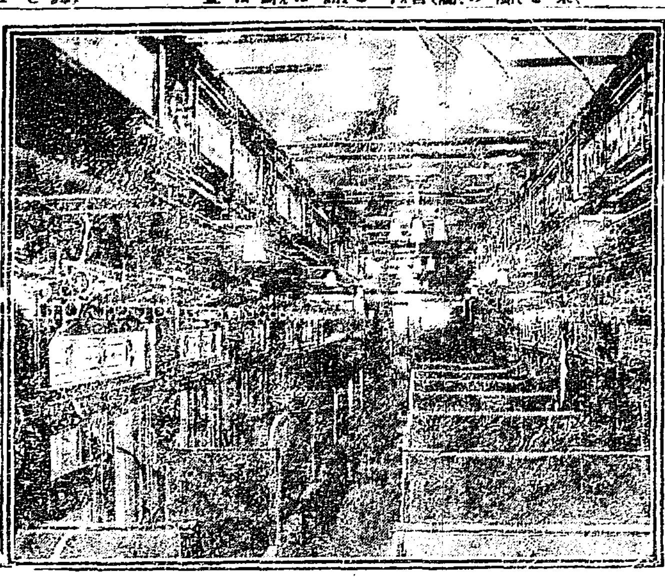
それが如何して斯樣なつたのかと調べて見ると千代が淪落の淵を流れ初めたのは實父の夭死が其の遠因を爲したもので明治三十二年時代の眞面目の千代は小濱病院の看護婦をなし又赤十字社福井支部の看護婦とも爲つて評判もよかつたものだが其後母親は現在の繼父なる彌市と一つになつて其處に[illegible]が有つたので卅六年といふに彼女は上京して

▽牛込河原町の東京女醫學校へ通ふことになつた、そして之れも母親の血を享けた彼女の事とて間もなく東都醫界の犧牲とされて仕舞つたのであるそして筋書き通りの破目になつては學資金といふ名目で二千金といふ大枚を鄕里から騙取する程の大膽な女となつた。母はそれと知つて早速國元へ呼び返へしたけれど一度魔の手の捉はれとなつた千代は歸ると亡父の全財產を自己の名義に書換へ再び上京しやうと謀つたのであつたけれど其の時は已にすべては繼父の名と爲つて居たすれ枯れた千代は

▽繼父を相手取つて財產横領の訴訟を起しもしたが遂に詐取した二千金が千代の爲に非常な不利益となつて義姉の千代は遂に淺濟家と戶籍上何等關係無き者となつて仕舞つた以來自棄の千代は京阪九州各地を流轉し屢々刑事起訴を受けるまでに淪落し遂に流れ流れて此牧の島へ紛れ込んだのであつたしかも世にいふ親は有難いもの千代の母親は彼女に改悛の見込さへあらば幾程でも送金して鄕里に呼び戾すと云つてゐるさうである(山陰)

●朝鮮に初めて出來た一等全車
滿鐵京城管理局

の龍山工場で製作してゐた一等全車二輛は此の程完成したから南大門驛の車庫に入れてある、此の一等全車は朝鮮で初めて作られ一等の團體用に充つるのである、其の費用は一輛約二萬七千圓を要し設備其他最新式に則つてゐる



●小學生の一生不動
佐藤少年は斯して燒死んだ
●救助に從事した兩訓導も火傷

滿鐵京城管理局運輸課員佐藤三郎氏二男靖(九つ)といふ龍山小學校尋常科三年の兒童が十七日同校第一學年教室に備付けのストーブにて火傷し十八日午前五時遂に死去したることは取敢ず報じて置いたが今其負傷當時の模樣に就て校長山本吉久氏並びに訓導若月周一氏、其他當該係官たる金谷府尹、大塚京畿道學務主任、信原同學務係、大山京城府學務主任の談を綜合するに

▽負傷の時 は午前九時三十分頃未だ授業の初まらぬ前であつた、今回燒死せる佐藤靖といふ少年外七八人の兒童が教室內の暖爐に溫たつてゐたとき何うした機みか佐藤少年が穿いてゐた小倉の袴に火が附きアワヤと云ふ間もあらせず衣類に燃附いたので慌てゝ教室外に飛出した、所が其の日に折惡しく寒い空風が吹荒んでゐたので風に煽られたから堪らない少年は矢庭に校庭に飛降りたがそこには生憎く枯芝があつたので恰も焚付の中へ飛込んだと同樣、哀れや十歲に足らぬ幼き體を

▽猛火に包まれ乍ら暫時も煩悶してゐたのである。此時急を聞いて驅け付けたのは受持の訓導高橋清一氏であつたが、併し訓導の教師の控室と前記の場所とは約四十間も隔つてゐるので同訓導が驅付けた時は既に遲く、火は全身に廻はりて少年は只だ廬盆を擱んで物凄きまでに泣叫び乍ら藻搔いてゐる最中であつた。訓導は突然自分の衣物で其の火を押消さうとしたが、迚も手で揉消せるものではなく我身を忘れて一生懸命に兒童の體に抱き附いた爲め高橋氏自身も制服を焦がして且つ掌に全治までに約一箇月以上を要する

▽大火傷をしたのであるが、此時宿直で遲れて驅付けたのは前記の若月訓導であつた、若月氏も之を救助するとき手に火傷をしたが之は幸ひ輕傷であつた。續いて驅付けたのが本田訓導であつたが本田氏は此の火傷をしてゐる氣の毒な師弟を救ふべく直に井戶端に走つて幸ひ其所にあつたバケツに水を汲んで來て師弟にブツ懸けたのである、之に據つて漸く火を消す事が出來たが、不幸なのは佐藤少年であつて、直ぐ樣學校の前の鐵道病院に擔ぎ込まれ更に鐵道病院に收容されたが到頭氣の毒にも十八日の午前五時九歲を一期として

▽黃泉の旅 路に就いた佐藤靖君といふ少年は學術品行共に甲の上であつたとは返す〴〵も惜むべき事である。

▽悲しき告別式
幾百の會葬者 面を背く

そこで十八日午後四時より葬儀を營む事となり其の父親に當る佐藤三郎氏の家から小さき[illegible]が運出されたのである此の葬列には校長以下職員生徒は勿論鐵道管理局の各課長以下・附近各驛長其他の高等官判任官等も數十名加はり京城府からは府尹、大山府學務主任・[illegible]などが會葬し寺まで附いて行つたのである。葬列は午後五時頃龍山小學校の前に立寄つて此處にて悲痛なる告別式が行はれた。式は柩を校庭の正面に安置して數百の可憐なる少年男女の生徒が敬虔の態度に一齊に首を垂れたときは數百人の會葬者も愁然として顏をそむけた。斯くて[illegible]日の力なく[illegible]山の影に沈まんとする時、此の悲痛なる式が了つたのである。夫れより一同は再び葬列を整へ新龍山大念寺に到つて葬儀を營んだのであつた。

●鮮人二名燒死
仁川の火事

十八日午前七時三十分仁川濱町[illegible]湯、川本外助方より出火宮町[illegible]より急報に接し各消防隊常備消防隊は勿論警察隊等時を移さず出動し僅かに一戶一棟の全燒にて午前七時三十分鎭火するを得たり原因は風呂場の焚口殘火の不始末に依るものなるべく之が爲め風呂場に宿泊中の炭屋鮮人吳斗贊(二二)及び吳の友人公州鳥致院康正福(三三)は同所に宿泊し不意の失火に逃げ場を失ひて無慘の燒死をげたり尙ほ十七日午後七時三十分には仁川米角里百三十番地米商金永九方より出火したるも消防隊の出動に依り一戶半燒にて同八時半鎭火するを得たり

●凍死者續出す
元山寒氣酷し

元山は昨今寒氣嚴しく每日氷點下二、三度を往來し元山德源、安邊附近にては貧民の凍死者續出し居れり(元山特電)

●電車襲擊事件
上告棄却さる

昨年の秋釜山瓦斯の電車が釜山鎭に於て鮮人一名を轢死せしため附近の鮮人激昂し電車を襲擊し投石して數臺を破壞し電車運轉手を毆打負傷せしめし事件は其後被告人數十名より高等法院に上告中の處十七日上告棄却の判決ありたり

●日本人の露都生活
兵卒と一日の給料=赤色近衞兵=秘密警察=犯罪の激增=[illegible]

▽物騷な近衞兵 露都には赤色近衞兵さへ[illegible]といふのがあつて市街の警戒に任じて居るが此等近衞兵は勞働者が五留から二十留位の日給を貰つて集つたもので其服裝は鳥打帽もあれば軍帽もあると言つた風で不規則不秩序な事はとてもお話にならない衞兵が腕に赤布を卷いて七八人づゝ街を押步いてゐるのだから物騷千萬だ

▽犯罪の增加 殊に三月の第一革命の際監獄が破壞されたので政治犯は勿論強盜殺人の如き重罪犯人まで破獄を企て今では衞兵の中に交つて白晝公然市中を橫行してゐる程だから犯罪が非常に增ねて來る。枕を高うして寢る事も出來ない。併も政府は此れを取締るでもなければ犯人を逮捕するでもないから總てが強い者勝ちで道德も宗教も力も暴力には打勝つ事が出來ない

▽警官の拂底 革命勃發の際露國の[illegible]學の泰斗である某博士が完全に研究して置いた犯罪學上の材料も全部燒拂はれ名探偵なども全部殺されたり逃げたりしたのでケレンスキー政府時代に秩序を恢復すべく官や探偵を募集したが一向應募者がない其處で巧みに手を盡して帝政時代の探偵を探して漸く秘密警察を作つたがそれも過激派政府になると再び破壞されて了つたので今では全く無警察の狀態である

▽暗愚の農民 暗愚な農民や下層民は宗教及び政治上の權者として"ザー"を頂いてゐたがロマノフ家が倒れて了ふと渴仰の對象を失つて其の歸趨する處に迷つてゐる今でも寺院の前を通る時禮拜だけはするがそれは單に永い間の習慣に過ぎないのである暗愚の民は宗教から離れて政治上では危機が到來してゐるのであるから其の生活は益々悲慘の深淵に投ぜられて了つてゐる(終り)

●債權を種に

平壤府[illegible]町[illegible]所冬三(五二)は去る五月三十一日元平壤驛[illegible]家具[illegible]販賣店小笹吉太郎より大同郡[illegible]乙美面寺洞里藤田[illegible]一に對する債權六圓五十八錢の讓渡を受け地方法院に支拂命令を申請したるを手始めとし以來二十回に涉り不正手段を以て債權の讓渡を受け或は取立の委託を受け居たる事發覺保安規則違反として十七日起訴收監されたり(平壤)

♣爪の垢で犯罪鑑定
割り取つても矢張り殘る

♣これはシカゴのフイシヤー博士の研究だが、人の指の爪の裏を顯微鏡に照して見ると其處には動、植、鑛物等の種々の物質が發見されてあるさうだ。今假りに爪の裏を全く綺麗に掃除してその人に衣服を著させた後その爪の裏を檢査すると木綿毛織の衣服纖維又はネクタイを結ぶために咽喉から採取つた細胞等が一週間はちやんと殘つてゐる。♣そしてそれは假令ブラシを使ひ又ナイフの先等で割り取らうとしても中々取れるものでない。又爪を掃除しても矢張り殘るさうだ。それを今度桑港のシユナイダー博士はこの爪の垢を以て犯罪者搜索の手網にする事を主張した。♣それは犯罪者の指の爪又は被害者の指の爪には幾多の犯罪證跡が殘されてゐてその爪の垢に依つてその人の職業及び手に取つてゐた物、衣服の種類色合まで鑑定するさうで♣重大犯人例へば國事犯人を鑑定するにもこの方法を使つて調べて見ると數日前迄何處に隱れて如何なる食物を喫べ、又如何なる衣服を著て何處の土地を何ういふ乘物で來たかが明かに解るさうだ。

淋疾內用

ブレノリン

ドクトル松本喬一郎先生の創案により製出したる本品は速に腸內に吸收分解せられて尿に強烈なる殺菌防腐性を與へ兼て尿量增加の作用あり、而して胃腸障害其他の副作用なきを特色とす。

急性慢性淋疾尿道加答兒膀胱、淋疾前列腺等に賞用せらる。
宇野博士、緒方博士、櫻根博士は本品に對する治驗報告を寄せられたり。文獻贈呈す。
粉末錠劑の二種あり 各地有名藥舖にあり

東京室町 三共株式會社

新滋養劑 レグモン

肺結核に對する理想的滋養劑として
レグモンの賞用せらるゝ理由
(一)其八十五プロセントは吸收せられ易き蛋白質なるを以て速かに榮養を增進し一般機能を佳良にし衰弱を防止す、
(二)肺結核に對し一種鹽砂の作用を有するカルチウム鹽を含有するが故に病勢の進行を止め、食慾を進め、營養物の吸收を佳良ならしめ、血液の濃度を增す
其他レグモンは總ての病中病後の衰弱に極めて有效にして現今醫界の信認最も厚し

定價 百グラム入 金壹圓貳拾錢 貳百五十瓦入 金貳圓貳錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢

大阪市東區道修町 一手販賣店 武田長兵衞商店

年末年始の贈答品

體裁に申分なく
先方に乾度歡迎される
理想的の贈答品

商品券調進可致候
化粧箱入及び
美麗なる
に限る

大日本麥酒株式會社

健康となる金科玉條は
美味滋養
蜂印香竄葡萄酒を
每食前飲用するにあり
さすれば 血を增し 肉を肥し
知らず識らず健康體となる
[illegible]

櫻御殿

第百回　大阪　霞の家主人

變生男子（十三）

『はて、云はずとも知れた事、初瀬の行方を探しに參るのぢや』
『は、初瀬樣の』といよ〳〵訝いて『何れへお入來でござります』
『先は分らぬ、何處といふ當もない、なれど意地を案内にして參るすれば遠からぬ間に、本意を達するであらうと思ふ』
『それも御有理でございます』と八助は立ち止まる、そこは先刻に休んだ茶店の前であつた
『亭主また造作に預かるぞ』
『お早いお歸りでござります』

助左衛門は葭簾張りの床几に腰かけ
『亭主々々』と呼び『お主は宗藏の事を存じ居らぬか』
『宗藏は花六の倅でござります』
『その倅は遠所へ行つて居るさうぢやの』
『何うでござりますか、一向に存じませぬ』
『近頃見かける事はないか』
『されば、お待ちなされませや、宗藏を見たのは、とうつと』と小首を傾けて『十日ほども前でござりましたかな』
『すると、毛利殿の賦役に取られて、長州へ參つたといふは僞りぢやの』
『何うでござりますか、その邊のことも一向に聞きませぬ』
八助は直然と立つて、逸散に驅け出さうとした
『これ、何れへ參るぞ』
『旦那樣に僞り云ひ宗藏の所在を秘した花六奴を取つちめて參ります』
『それに及ばぬ、花六を取り詰めて乃公の意地が立つではない待て〳〵』と引き止めて宗藏の目を閉むる、その目の中へ浮んだは先刻この茶店の前を通行した編笠の士であつた
『もしや、彼が初瀬ではなかつたか』と助左衛門は不圖思ふ
女ては目に立つ、若い女の一人旅は取り分けて面倒な、初瀬の智慧には花六といふ[illegible]ない首尾も有り、お筆といふ悪賢しい女もある、いつまでも家の中に止め置くことの危さを知つて、男の姿に扮打たせ、遠國へ旅立たせたのではないか、さう思ふと、背後姿に格好せぬ素振もあつた、編笠を被つた頸筋元が優しさに過ぎて居た
『そんな事なら、引き止めて笠の中を覗いて遣る所であつた、是が非でも引き止めて詮議する所であつた』
と、思ふ下から
『それでも編笠は一人であつた、もし初瀬なら宗藏が付いて居る筈である』との氣も起る、人違ひか眞の本人か、何れにしてもまだ遠くへ行くまい、こゝを暫く東すれば山陽道の本街道へ出る、急いで後を追ひかけたら、廣島の城下あたりで追ひつくことが得きるか知れない
『八助、お主は今から屋敷へ歸つて、この村での顛末を披露して後有るだけの旅用を受け取り、大急ぎで後から參れ、乃公はちと考へ付いたこともあるゆゑ、これから一直線に本街道を東へ驅ける、西へ行方を見失はゞ、西條本町の桔梗屋方で待ち合せ、遲くも明日の朝までは屹つと參る』
『委細心得てござります、然し、左樣なことを遊ばしては、奥さまお怨みなさりませぬか』
『何事も武士の意地には換へられぬ、きつと致せ』と強く云ひ『さうして萬一殿に疑はゞ、お上表へは病氣の旨を届けて置くのぢや、好いか、間違へるな』
『大丈夫でござります』
『急いで行け』
助左衛門は答つように云ふ、八助は逸散に驅け出した
『變生男子、變生男子、これも世間にある例ぢや』
助左衛門は獨語ながら後から出た

齒科診療　野田齒科醫院
本町一丁目三越向　電話一四七番
齒科醫士　野田隆治

日綠歌壇

仁川　多賀泥江

□はろかなる干潟の崗ゆ仄白う夕餉たくらし烟のぼる見ゆ
□夕さりて風強ければからからと倉の大戸は閉められにけり
□冬の朝力一ぱい蹴り上げしフットボールの音のさやけさ
□山峽の鮮人部落の温突ゆ烟はひいで夕ざりにけり

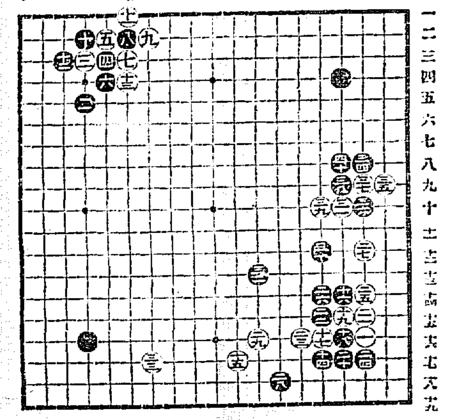
名刺　京城　太平堂　電話二七二番　振替京三三六七番

◎原州雉子會例會（秋雜詠）

[illegible]

圍碁手合

十番碁　第二局の二
三段　山平讓氏　二子　大久保雅彦氏
白八の五十一手（二十二より五十一まで）



新刊紹介

大貉や朝日に向ふ渡邊　淡次
旅籠屋の大目 / 岩壁の殺ふ下道江[illegible]し　二朗
同 / 後前下不精通る四戸の村　同人

▲改訂玩具製造法（大日本家庭教育會編）家庭で出來るおもちやの製造法を[illegible]
▲當用日記（博文館）[illegible]
▲[illegible]
▲正岡子規（[illegible]）[illegible]
▲新案當用日記（[illegible]）[illegible]
▲自修英語速成（日本英語速成會編）[illegible]
▲婦女界（[illegible]）[illegible]
▲俳諧日記（[illegible]）[illegible]
▲新式附非賢典（[illegible]）[illegible]
▲スネーク（[illegible]）[illegible]
▲小女日記（婦人之友社[illegible]）[illegible]
▲主婦日記（婦人之友社[illegible]）[illegible]

無病長壽を希ふ人[illegible]
人蔘エキスを
知る人は人蔘エキスに
親しみ方は一生健全也
[illegible]

女は髮飾りが第一か？

大切な髮の事を心掛けて下さい

昔とは違つて當時は老人でも白髮の人は丸で見へません、まさかないのではありません之れは白髮の老人方は申すまでもなく若い人でも赤毛の方も澤山あるのですが皆さんが染めて居るからです故に婦人でも髮の毛が黒く艶々して居れば何事をなすにも若い者に[illegible]澤山種類がありますが[illegible]良いとは申されません[illegible]薬品にて製造しても[illegible]よつて[illegible]も品質[illegible]毛赤毛染劑は有名なる[illegible]君が代でございます[illegible]にて染り[illegible]

しさに黑く艶々して[illegible]質を害せず[illegible]色が永く保つ事は[illegible]る品はないと[illegible]なに論より證據は[illegible]生命より大切にします[illegible]於て染毛劑は

君が代に限ると申して皆さん愛用して居りますですから白毛や赤毛の方で其の御手入れに苦心して居る御方は速やかに君が代を御使用遊ばさる方が御徳です
本品は全國到る處の有名藥店化粧品店にありますから御最寄にて御求め下さい若し品切の時は直接本舗東京淺草區藏前片町十番地山吉商店へ君が代御一瓶と注文を願ひます
價は別製貳拾八錢特製貳拾五錢の二種あり

京城　大口明町　勧迎
商金町二丁目長橋前　電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

りん病　はい毒
大阪　京城南大門外　ドラッグ商會藥種部
◎詳細は本月三日の本紙を御覽
偽ドラックあり注意
京城本町三丁目電車停留所前　ドラッグ商會

大阪株式特電

十八日前場　後場

日本郵船	二九五、〇〇
同新株	二八九、五〇
堂島米穀	一七一、七〇
東京株式	一六九、五〇
大阪株式	一八六、三〇

大阪期米

▲十八日後場
▲當限寄付　二十三圓九十二錢
▲中限寄付　二十三圓三十八錢

寄付八十錢二節以降八十錢より一錢揉み四節大阪小高き移りにて結局二錢と揮止めたり
後場當限一節二十圓丁度
◇中期米不申

穀物協會調査に係る仁川在庫品左の如し
玄米五四、三三三　大豆六、二五三
白米　五、八八四　小麥二五、〇五六
[illegible]十　八三三　綿　一、一五三

後場寄付	十九圓八十三錢
止メ	十九圓八十三錢
高値	十九圓八十二錢
安値	十九圓八十
出來高	[illegible]

1	玉縣秩父郡中川村	宮崎宮五郎氏夫人
2	十勝國中川郡本別村	寺内氏愛兒
3	高知縣高岡郡西村	櫻原町治美氏
4	鹿兒島縣給良郡山村	有村氏愛兒
5	高松市福田町	川口文代子
6	上州前橋郡水上村	阿部信太郎氏
7	大分縣速見郡日出村	木島建穂氏愛息
8	秋田縣南秋田郡	村小玉氏愛息
9	朝鮮龍山	酒井正雄氏
10	大阪市東區船越町一丁目廿八	加藤氏愛息
11	福岡縣田川郡上野村	内山氏令子
12	金澤市下大橋町八四	中島氏安房

くすりの神とも仰ぐ
下山藥學博士が
命の母は、婦人藥として坊間に存在する諸藥劑に比して、卓絶なる効驗を有す
と
名譽ある證明は本劑獨特の權威です
▲病氣がなほつて……丈夫ない子が
産れたとは實驗者の歡喜の聲茲に掲げた愛兒の母御達は其の一例です！

女のくすりで
一番よくきくのは
命の母です

命の母略効

●子宮内膜炎	●子宮外膜炎
●子宮實質炎	●子宮周圍炎
●子宮頸管カタル	●ヒステリー
●膣內經變調	●惡阻
●赤帶下	●貧血
●白帶下	●血の道
●眩暈	●卵巢炎
●足腰緊引	●頭痛逆上
●下腹腰痛み	●月經不順
●子宮痙攣	●喇叭管炎

婦人病者の心得
北島佐藤南醫學士著の本書はハガキにて申込次第進呈

藥價表

七日分	八十五錢
二週分	一圓五十錢
五週分	三圓
試験命の母	
五日分	十錢
十日分	一圓八十錢
卅日分	三圓
二ヶ月分	五圓

●命の母には文明式の金袋あり
●命の母には種々の類似品あり
●命の母は賣る處の信用藥店にて御求めの事
●命の母の販賣店にて品切の時は必ず本舗に注文せらるべし
●命の母の名稱に注意せられよ

本舗　笹岡省三藥房
東京市京橋區新榮町四丁目　電話京橋二一〇一番　振替東京五〇五〇番
大阪北區本庄中野町　電話北二二三番　振替大阪三二八〇番